

神戸女学院における体育の歴史  
～明治時代～

谷 祝 子  
井 上 紀 子

## Summary

### History of Gymnastics in Kobe college ~Meiji era~

TANI Noriko  
INOUE Noriko

Kobe College (hereafter, 'we') began its 127-year-history in 1875 (Meiji 6) when two women, Miss Eliza Talcott and Miss Julia Dudley, missionaries of the American Board of Commissioners of Foreign Missions, founded a private school in Kobe. Hoping to diffuse the Christian way of thinking and to help young women realize their full potential, they founded Kobe Home as an educational institute in 1875 (Meiji 8) while continuing their missionary work. In 1880 (Meiji 13), our 2<sup>nd</sup> president, Miss. Clarkson, who had further focused on the educational sphere, accommodated the school to the Japanese educational system and introduced "gymnastics" into its curriculum. Later, gymnastics was renamed to physical education and has been a part of the curriculum in our college since then, as well as in our junior high school and high school for more than 120 years. In the new millennium, health education is again attracting so much attention that some colleges are now establishing a new department for it. The crest of our college, the three-leave-clover, represents our three principles; body, mind and spirit. One of these principles lies in health education. Unlike many other chronicles of our college, my study is focusing on the history of physical education, mainly on health education in the Meiji era, by using chronological charts. From the perspective of physical education, the Meiji era saw the onset of nationalism, which strongly affected Japanese society afterward. However, this was not the case for our college, a women's college run by foreign missionaries. First let us review our alumni bulletin, "Megumi", filled with affection for our alma mater, to understand the circumstances at that time.

神戸女学院（以下本学院）127年の歴史は明治6年（1873）2人の女性宣教師、イライザタルカット女史・ジュリアダッドレー女史の学校創設に始まる。

キリスト教的世界観とキリスト教の目指す完全な人格形成を主目的とした2人の宣教師は布教活動と同時に教育機関として明治8年（1875）神戸ホームを創設され本学院の歴史が始まった。

明治13年第二代校長クラークソン先生は更に教育活動を重視した活動を始められ、初めて学制を施行されている。『体操』科目の始まりである。

以来120余年の現在に至るまで体操は体育科目として名を改め現在中学部・高等学部・大学で実施されている。

21世紀を迎えた日本の大学では「健康教育」が見直され学部を新設する動きが見られる。

本学院の校章には身体・精神・霊魂が三つ葉のクローバーとして表されその一葉を担うものが「健康教育」である。

本学院に多くの学院史が編纂されてきているが、本研究は健康教育を主眼とした体育史に着目し学院の足跡を年表形式でまとめ、先輩達の足跡をたどりながら明治時代について考察する。

体育史から観る明治時代は国家主義台頭期であった日本の社会に与えた影響は大きい。しかし、本学院のように外国人宣教師の経営する女性の為の学校においては歴史的事実が大きく違う。本学院に残されている資料・同窓会誌“めぐみ”に観られる同窓生の母校愛を交えつつ考察していく。

## 明治期における神戸女学院の体育（1）カリキュラムに見る体育

明治13年（1880）クラークソン校長の時代に初めて学制が示され学年がはっきりとした授業科目が明記された。伝道を主としていた今までの方針が学業を主とした学校方針に変わり歩み始める。カリキュラムが学年ごとにあらわされ、初めて『体操』の科目がもうけられた。

授業内容は現存の資料に残っていないが、担当者を日本人に求めている（採用）…（80年史 P156）と記されてはいるが個人名までは資料より得られなかった。

日本の教育機関において当時はまだ女性の体操専門担当者が育成される場所はなかった。日本人最初の体操担当女教師は明治32年アメリカスミスカレッジに留学した井口あくり女史である。（P185）

明治16年（1883）に着任されたソール先生が体操を担当されていた。（50年史 P31）宣教師の先生で主に担当教科のある方もソール先生同様体操を担当されていたとは考えられないか？また、当時の日本教育機関においても体操専門ではなく、国語・体操担当、地理・体操担当等複数の担当科目のある先生が見受けられるがこのようなかたちで担当者が得られたと考えられる。

授業内容についても何枚か現存している写真でしか考察する方法はないが、棍棒体操・唾鈴体操の授業を校庭でしている風景が残されている。(P180、181、192)

これらの体操を日本に紹介したのは政府が招聘したリーランド G・A Leland (1850~1920) 博士である。

博士は母校アマースト大学が40年に亙る経験により如何に体操が学生の健康や成業に好成績を残したかを述べているが、体操運動の効果をただ現象的にとらえただけでは十分でないと述べている。博士はキャサリン・ビーチャ女史の『生理学とキャリセニクス』を引用し PH リング氏の語をかりて運動が精神に及ぼす効果を説き、更に筋肉・循環・呼吸・神経系統ならびに皮膚等に及ぼす影響や栄養と体育運動の関係を説き予防医術としての体操の効果を論じている。(彼が日本に紹介した体操は普通体操・重体操・活力検査) 明治11年(1878) 着任後日本で初めて身体検査が実施されている。本学院も身体検査統計表として明治40年に実施されたものが残されている〈資料5〉

重体操は男子生徒を対象とした器械体操・スポーツを主としたことを思うと女子生徒は普通体操・活力検査が科目内容であったと思われる。

普通体操(軽体操ともいう)は徒手体操や手具体操のことであり、アメリカのダイオリス氏が考案したものである。普通体操は母校、アマースト大学においてもヒッチコック教授によりダイオリスの普通体操を実施している。

普通体操は唾鈴・玉竿・木環・棍棒・徒手体操が女子学生向きであると薦め、本学院もこれらの体操を取り入れている。

岡田山に移転後の大学体育館には現在も当時のなごりとして木製唾鈴の収納棚(30名分、60コのY字型壁面にはめられた棚)・木製唾鈴・棍棒が残されている。

## 明治期における神戸女学院の体育(2) 体育施設

創立25年略史および50年史のなかに校舎配置図が残されている(資料1)(資料2)

開学と同時に建てられた校舎は西洋風の二階建てベランダつき建物一棟であった。後に南舎と呼ばれた建物は、階下に教室2・生徒用食堂・客室各1および教師用居間と台所等が配備され、二階には中央に米人教師の寝室その他13の小室が生徒用のものとして、タルカット女史の配慮で畳が敷かれ日本風に作られていた。畳敷きにすることによってあらわされる教育方針の配慮は、生徒たちに外国の生活習慣を取り入れることが生徒たちを友人から遠ざけてしまうことを危惧され、日本の伝統的生活様式の中で他の周囲から遊離されることなく育てるという心遣いがなされている。

ただし、うつむき加減に歩く当時の日本女性の姿は本学院にはなく、タルカット先生より姿勢教育がなされ、前かがみの姿勢や足を内わにする歩き方をやかましく注意をされていたことが読みとれる。

日本女性に勉学の機会とキリスト教信仰への扉を寄宿舎学校として実現された本学院は、明治10年(1877)第二の校舎が建築されている。寄宿を希望する者が倍増し、入学希望者が全員

収容できなくなることによりやむなく入学希望者を断らなければならなくなった実情によるものである。西洋風で二階建てのこの建物は、正面二階にベランダが設けられ階下には講堂と二教室、二階は教室と寄宿用にあてられた。

南舎の西南にL字型に配置された第二の校舎は、後に増築されている。手狭な様子は講堂には普通教室のように机も椅子も並べられていて、自習を講堂でしていたと記されている。

明治13年（1880）第二代クラークソン校長のもとで五年制の新課程を発表し、（神戸英和女学校と改称）カリキュラムを制定するなど新しい時代を迎え、体操の授業は二棟の建物以外に校舎のなかった状況下で始められた。

校庭には中央に古い梅ノ木があり、<sup>フランコ</sup>鞞鞞が備えられていた。（50年史）テニスコートも用意され、明治初年から試合がおこなわれていた。（P179）

カリキュラム制定当時の体操は、毎日午後4時から5時まで（ただし一部の生徒は夕食準備）日課としておこなわれていた運動であろうと思われる。（100年史）運動の内容は資料として残っていない。80年史によると日本人の体操担当教員が採用された記述が残されているが、50年史では当時の担当者名を見つけることは出来ない。日本のキリスト教主義の女子校で、宣教師の母校の授業内容が実施されている例をみると、本学院の体操の授業も同様であろうと推察できる。

明治20年（1887）第二の校舎は西北に移設され西舎として寄宿舎に転用されている。同じく、同年新講堂としての建物が南舎の南に建てられた。建物は地下に下屋と称した雨天体操場、通称地下体操室（25坪4合）が設けられている。（めぐみ55号）（50年史）

明治26年（1893）音楽館が建築された折、音楽館体操室が設けられ授業が実施されていることが記されている。（めぐみ14号）

以上の場所は雨天に主として使用された体育施設であるが、もちろん校庭にても実施されている。

念願の雨天体操場が明治41年（1908）大講堂が新築される時、新講堂を取り壊した材料で独立した専用の校舎として建てられた。

明治21年（1888）には校地が拡張され、池を埋め立てテニスコートが設置された。池が埋め立てられたのはテニスコートに利用するという目的である前に、学校の湿気の原因と考えられたからである。校内に居住する多く寄宿生の、重い気管支炎やマラリアの病状に危惧されたため（ティラー博士のご指導による）と考えられる。金魚がいたというこの古池は、化学実験のガス採集場所であった。（めぐみ55号一回卒生思い出より）

池を埋め立てられた場所は後に築山として利用され一層大講堂を引き立たせるために使用されている。

当時築山にあったしゅろの木（九鬼氏がグッドレー女史に贈ったもの）は岡田山に移され講堂前の築山に現存している。

雨天体操場も神戸市より得た校地に建設され（資料2）バスケットボールコート・テニスコートと隣接して配置されている。

### 明治期における神戸女学院の体育（3）特色～バスケットボール・テニス～

バスケットボールは明治24年（1891）マサチューセッツ州スプリングフィールド国際YMCAトレーニングスクール（現スプリングフィールドカレッジ）の教官であったジェイムス・ネイスミス氏によって創案された。

当時のバスケットボールはピーチバスケット（桃の収穫に用いる籠）であり、現今のようにボールが通過するタイプのものではなかった。バスケットボードも最初はなかった。（P179）観覧席にいる応援者が傘等でゴールを阻止するよう邪魔をしたことからボードが設けられていた。

ゲームの形式も現今のものとはかなり違っていたが、日本に導入されたのは当時アメリカで行われていた女子用のルールに近いものようである。

女子大設立・女子教育の研鑽の為当時アメリカに留学していた成瀬仁蔵氏が日本に導入し普及したとされている。成瀬氏は明治27年（1894）に帰国後大阪梅花女学校の校長となり（明治29年まで）梅花女子生徒にバスケットボールを指導し試合を行ったのが日本最初だといわれている。

成瀬氏は退任後明治34年（1901）日本女子大学を設立し、日本女子大学でも大いにバスケットボールを普及させていることが伺える。

関西のキリスト教同盟校においては同盟校間でいち早くバスケットボールの交流試合が行われ、当時の新聞を賑わせている記事が残されている。（めぐみ50号）

同志社女学校・梅花女学校・ウキルミナ（現大阪女学院）と本学院とが交流試合をおこなっている。（P191）

日本に紹介されたバスケットボールは9人制・コートをも3区画に分けたものであった。

アメリカではヴァーザ・スミス・プリモア・ウェルスレー諸大学で行われていたことが兵庫県バスケットボール50年史に詳しく記載されている。

本学院でバスケットボール・テニスを指導し審判をおこなったのは宣教師の先生達であった。ミス・ショウ先生（英語・歴史担当）が体操を教えられ、ミセス・スタンフォード先生（音楽担当）はテニスの審判を、ミス・ゴードン先生（英語・歴史担当）はテニスを指導、ミス・ペティー先生（英語担当）はバスケットボールを指導されている。ミス・ハッキング先生（嘱託体操教師）はバスケット交流試合に審判をされている。

テニスは明治初年から日本でおこなわれていた。梅花女子と神戸女学院がテニスの交流試合をしている写真が残っている（梅花学園資料より）。

明治四十三年二月十二日はしも、世にも珍しき女軍の戦争日にしてその場を神戸女學院葆光館のバスケットボールグラウンドにとりぬ。これぞ其名も高き神戸女學院バスケットボール撰手隊と、大阪梅花女學校の、それとなりき。其の扮立のおもしろかりしは梅花女學校の諸兵にして、老いたるも若きも、皆おなじく大なるリボンをおさげの頭にかざし、足は皆足袋はだしにして、其の着物の白木綿の洋服の様な襦袢の様な着物の様なものなりき。これに反して神戸女學院は更に優美なるものにして、頭には只一つの飾物もなく、皆ミツ組に編みて後に垂らし、普通の着物に白たすきをあやとり、其の胸にはミスハツキングの手になりし學校の印おば着けたり、袴も梅花女學校の足ののぞいて居るのとは全く異なり、實に優美にして質素なるものなりき、されど其の働振のめざましかりしは見る人をしておどろかさしめたり。天下未曾有の女軍の出陣とて大阪よりの見物人も實に其の數多く、梅花女學校の方向をはじめとして、ウキルミナの方々並びに父兄方大阪毎日新聞記者など皆々我先きにと、開戦時にはさすがの廣庭も人をもて山をなしたり。

さて、午後二時半と云ふに開戦のあひづは出陣者をして其の胸ををどらしめたり、否そを出したる我等神戸女學院の者は、皆手に汗して我負けじと働く姉妹達に其の心を注ぎたり、兩軍のめざましき働きは容易に第一の勝負を來らさず、十數分の後にしてすさまじきとの聲あがると聞えしは我が軍の二點を得たるなりき。拍手の音は暫く絶ゆる事なく梅花も我負けじと競ひし勢に次は續けて梅花四點を得たりき、我も負けじと競ひし功はあらはれて、次には又我が軍二點を得たり斯して兩軍同點をもつて第一部を終われり。八分後に再び現はれたる兩軍いよ、勝負もこの數分間にと互に競ひたれど心ばかりはやりて長き間ボール中にはいらす、到底今日は勝負もおぼつかなしと思ふ折しもドットあがりたるときの聲こそは梅花の二點を得たるなりけれ。續いて再びあがりたる萬歳の聲は又もや梅花の二點を得たるなりき。此の時早くも時間の大部分を過ぎたる折なりければかつてはウキルミナに勝ちし如く今日の勝も必らず我が軍にと心にひそみけん喜は自然と梅花の諸兵を笑ましめたり。負けては残念と今まで椅子に腰おろしたる數十の我が見物人はこれではたまらぬと、多くラインの側近く立ちて「○○さんしつかり」「○○さんお走りなさい」「今よ」「早く」など其の聲は絶え間なく、今日のバスケットボールのためにと特別のお召しを蒙りて雇はれたる此の光枝書記など自分の務は全く打ち忘れて、其の足はいつしかラインの中まで踏み込みをり後より悟りて飛び出でたる次第なりき。

〈年表について〉

- ・見開き左側には神戸女学院関係を、右側には社会一般についての事項を掲載した  
(但し、明治元年から明治27年までは体育関係の学院資料が少ない為、本学院事項として処理した)
- ・年表には年のほか、明らかになっている範囲で月日を記載した
- ・人名については引用文献に記されている通りを用いた
- ・枠外には脚注として特筆事項を記載した
- ・号数を記しているものは同窓会誌「めぐみ」よりの引用である

〈資料について〉

- ・出来る限り、原文に沿って再現したが、やむを得ず現代仮名遣いに変更した箇所もある

神戸女学院			
年号	西暦	院長・学長・担当者	事 項
明治元	1868		
明治2	1869		10. 米国伝道会が日本伝道を決議した 11. 30最初の宣教師グリーン夫妻、日本に到着、江戸に滞在する
明治3	1870		3. グリーン氏神戸に移りこの地を宣教活動の中心とする 5. グリーン氏神戸在留外国人の礼拝用に一部屋を確保する
明治4	1871		米国伝道教師ギュリック夫妻神戸に着任 グリーン・ギュリック氏の日本語教師市川榮之助捕縛
明治5	1872		12. 1同志社、神戸女学院共通の祖、宇治野英語学校設立《脚注》

宇治野英語学校 明治5年12月1日

ダニエル・クロスビーグリーン氏、オーエッチ・ギュリック氏、ジェロム・デイヴィス氏、ジョン・ベリー氏4名の宣教師団（主任教師としてデイヴィス氏がその任にあたっていた）が宇治野に一軒の借家を借り学校を設立した。

学校は寄宿生・通学生併せて40名の生徒を擁し、午前中の英語の授業のほか午後にはグリーン氏自らが旧約聖書を講じ、日曜日にはバイブルクラスが開かれた。

明治6年3月渡来まもない本学院創始者イライザ・タルカット女史、ジュリア・ダッドレー女史も学校の教務を助け、日本に教育・宣教の第一歩を印した。（百年史総論 P. 15）




社 会 一 般	
学校社会体育関係	事 項
<p>日本の軍事操練（体操を含む）育成に貢献したフランス教官団シャノワン来日、幕府の軍事に関する建白書で練体法（体操）の必要を述べる この年初めてフランス式体操おこなわれる 横須賀製鉄所で日仏合同パリ祭 同所職工の慰安運動会（日本初の洋式運動会）賞品に帯・着物</p> <p>11.28CH ダラス米沢英学校教師となり英・仏語学を教えるかたわらクリケットボール・高飛び・器械体操などの運動法を1875年迄教える 慶應義塾・三田に移り校庭にブランコ・鉄棒・シーソーなど設置</p> <p>東京女学校の教科「養生法」付加 南校に運動場設置 南校2時間の体操散歩時間を規定 南校学則改正 am9-9:30正課の体操を実施 大阪府〈小学校生徒心得書〉am11-pm1まで歩行運動～やうじょうがてらあるくことなりと仮名づけを許す 南校版〈榊中体操法図〉73〈改正小学校教則〉で日本最初の国定体操となる…上等小学校で毎級体操を一日1・2時間あてることになる。内容は榊中体操法図、東京師範学校板体操図などによる《資料17》 外国人教師が教授する中学教則で体操・奏楽の2科は、1週30時稽古時限外と規定</p>	<p>1.1兵庫開港 神戸に外国人居留許さる (江戸・大阪開市を布告) ウェルズ (Wells college) でキャリセニクスと音楽に関する女子学生のための指導を開始《脚註》</p> <p>東京帝国大学前身開学</p> <p>横浜：ミスギターの学校（後のフェリス女学院）開設 東京築地にA六番女学校（女子学院の源流）開設</p> <p>岩倉大使欧米歴訪（同行テロング米国公使） 日本最初の女子留学生津田梅子・上田悌子ら渡米 平川榮之助の例を米にて話す 新しい体操法を作ったデルサルト (F. Deisarte) 没60歳</p> <p>日曜休暇制決定 西欧的養生論が盛んに唱えられ保健知識の普及を体育啓蒙の役割を果す 東京府女子の断髪禁止 横浜にアメリカンミッションホーム（現在横浜共立学園）開設 政府、学制を公布（寺子屋から小学校、藩から国の管理へ）</p>

キャリセニクス (Callisthenics)

1837年、ライオン (Mary Lyon) の創設になるマウント・ホールヨーク女学校（第二代校長クラークソン女史およびパロウズ女史出身校）では、女生徒たちは20分のカリセニクスと1時間の家事を行った。

(体育の世界史 P. 347/序文 P. 290)

神戸女学院			
年号	西暦	院長・学長・担当者	事項
明治6	1873		<p>タルカッタ・ダッドレー両女史 大阪港に入港、ディヴィス宅に着任</p> <p>3.31神戸女学院創立者タルカッタ、ダッドレー両女史神戸着任 清家文子：第1回同期生 タルカッタ女史を助ける</p> <p>10. タルカッタ、ダッドレー両女史花隈村前田兵蔵方に私塾を開く →毎日午後2時間付近の子どもを集め英語を教えることを初めた、一時は8～30才17人（英語・唱歌・聖書）</p>
明治7	1874	タルカッタ校長時代	<p>花隈時代にプラスして新約聖書の話と裁縫が加えられた《脚注》</p> <p>私塾「女学校」北長狭の白洲退蔵の持ち家に移る</p> <p>私塾「女学校」を伝道会の事業とし、新たに寄宿学校を設立することを議決</p>
明治8	1875		<p>3.1伝道会が寄宿学校のための敷地を山本通りに購入する</p> <p>10.12寄宿学校校舎落成・南舎建設、授業開始</p> <p>創立の年：正式名として「女学校」となる</p> <p>神戸女学校（the Girls School in Kobe）</p> <p>キリスト伝、英語の初歩・世界地図・英語讚美歌を教える。</p> <p>タルカッタ校長は姿勢だけは日本の古い習慣を打破して常々真直に注意したという《脚注》</p>
明治9	1876	バロウズ女史着任	<p>午前中は国史漢籍（ニホンシナノホン）</p> <p>午後は英語西洋（イギリスコトバセイヨウ）の諸科（イロイロ）の学（ガクモン）は生徒の力に依（シタガッテ）て授（サズク）べし</p> <p>万国史（ユニバーサル・ヒストリー）英語で学習</p> <p>毎日聖書を教（オシエ）生徒の品行（オコナイ）を堅守（カタクマモ）らすべし</p>
			 <p style="text-align: center;">南 舎</p> <p style="text-align: right;">80年史より</p>

タルカッタ先生 姿勢教育

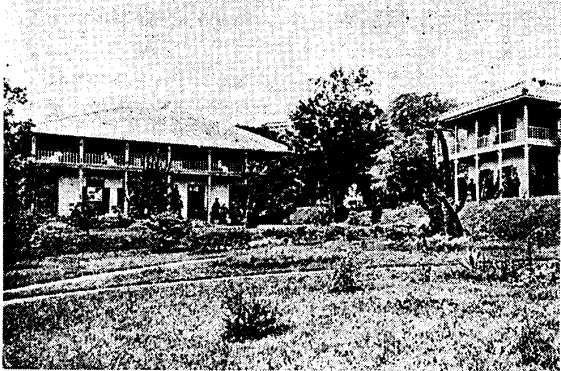
タルカッタ女史は日本女性旧来の前かがみの姿勢や足を内わにする歩き方、伏し目がちにものをいう態度についてはやかましく注意してこれを改めさせたが、それ以上にアメリカじこみにする考えはなく、むしろ、できるだけ日本の生活様式を尊重したから、生徒はみな和服に帯をお太鼓に結び、掃除や炊事当番のときにはたすきがけで働いた。

(80年史 P. 154・学院史料タルカッタ伝 VOL15P5)

社 会 一 般	
学校社会体育関係	事 項
<p>外国語学校教則 1 週 4 日間習業 24時間中 4 時間学科として体操実施外国語学校教則 中、予科・本科ともに 1 週 4 日間 20 時のほか毎日 1 時間体操実施 兵庫県布達「小学校教師の心得」で運動奨励と保健 の注意 開成学校のアメリカ人教師ウィルソン初めて野球を 紹介</p> <p>3. 伊沢修二愛知師範学校長となる（幼児に唱歌遊戯 をはじめて実施） イギリス人教師ジョンズ工学寮でフットボールを紹介 3. 21 海軍兵学校で競闘遊戯会（運動会）又土俵場を 設置すもう開始</p> <p>文部大輔田中不二磨〈文部省第 1 年法〉を撰しその 序文で「衛生の術」は未だその効果に見るべきもの はないが、「人身各健康を保するの実績」について は文部当局にとって重大関心事であることを述べる</p> <p>この頃東京開成校生徒心得に「散歩・遊戯・体操な どをなし、もって身体の運動をなすべしとあり正課 後の 2 時間は体操と外出散歩の時間たるべきこと」 とある</p>	<p>祝祭日を定め休暇とする 切支丹禁制の高札を除去し、キリスト教を黙認 インド駐在の陸軍将校、ブーナ（のちのバドミント ンゲーム）をイギリスに伝える 横浜にブラウン塾（後の明治学院）開設 東京築地に B 六番女学校</p> <p>神戸居留地遊園の名称を「内外人民偕楽園と」定め る 名古屋でパンの製造始まる 東京に女子小学校（後の海岸女学校 現青山学院） 立教学校開設</p> <p>8. 札幌の開拓使女学校開業式挙行、その夜女生徒た ち西洋の音楽につれて踊りを行う 新島襄同志社大学設立（同志社英学校） 大阪に照暗女学校（後京都に移り平安女学院）開設 米国の一流大学、スミス大学・ウェルズレー大学建 立</p> <p>近藤鎮三（文部省雑誌）第 6 号で「体育」という熟 語を使用 松本市開智学校会開校式に同校教員吉田昌智燕尾服 で生徒を指揮し体操の模範演技を披露 札幌農学校創学経営のためアメリカ人 WS クラーク 来日スポーツを紹介したのは同時に伴われた 2 人の 教師中の DP ペンハローである 京都に同志社女学校開設 札幌に札幌農学校開設</p>

#### 花隈時代

授業は唱歌と日本語でのお祈りに始まり 1 時間もしくは、それ以上の英語のリーディングと会話、日本語での旧約聖書物語・讚美歌をもって終る（I love to tell the story）

神戸女学院			
年号	西暦	院長・学長・担当者	事項
明治10	1877	11. クラークソン女史着任	<p>監獄の鹿児島の人を2名（西南の役）草引きとして雇う 働く時間は少なく聖書を読ませ親切にした（タルカット校長） 1人は後信者となって小学校教諭になった 第二の校舎として、教場・講堂を建設、（1888年）西北移築し西舎とす</p>  <p style="text-align: center;">第二の校舎      50年史より</p>
明治11	1878		<p>「就中（ナカンヅク）修身の教則（オシヘ）によりて各自の品行（オコナヒ）を正さしめ」が教科の紹介に先立って強調されているのが注意をひく 「学制」公布の影響を見るべきである また女生徒が将来は家庭人となるのに備えて「入塾生徒は各自（オノオノ）の家政（カセイ）を取る者なれば豫（アラカジメ）熟練（ナレン）がため自分の室内に注意しまたは廊下・講堂等の掃除をも手伝はしめ」と記され学科以外の校内生活を通じて家庭的しつけにまで教育の眼が行きとどくよう強調されている</p>
明治12	1879	クラークソン校長就任	<p>校名を「神戸英和女学校（Kobe Girls School）」と改称する 「教学大旨」教育の目的は仁義忠孝を明らかにすること《資料4》</p>

#### GA リーランド

日本の体育も諸外国の状況と同じく医学者又は医学的知識の豊かな人たちによって開拓されている。

日本の学校体育が宗教的雰囲気豊かななかでも人文、自然、社会に互る広い教養課程をもつアマーストカレッジ（1821年創設）に学び、人生に於ける健康の意義を正しく理解するとともに高度の医学的専門課程をハーバード大学で学習したリーランド氏を招聘している。

リーランド氏は母校アマーストカレッジ、ヒッチコック教授の教えた体操を日本に紹介し、学校体育の基礎をなした人である。

社 会 一 般	
学校社会体育関係	事 項
<p>1. 横浜本牧牛込村でアメリカ人メリマスらアイススケートをする 紙鳶・羽根つき・独楽あそび交通妨害の理由で禁止 5. 日本港波止場沖で米英対抗のバッテリー(ボート)競漕を開催 平岡熙アメリカより帰国野球とローラースケートの用具を輸入 西村文部大書記官は第2大学区視察記に「体操場に樹木の遮断なく、炎天日の下に体操を行うのは健康によくはない」と述べる 文部省学務課長、大阪英語学校に文部省の体操振興方法案を示した照会文を發す 大阪英語学校長、文部省学務課長に体操振興のため海外より体操教員を招くことが必要である旨を回答 札幌農学校教師アメリカ人ブルックススケートを紹介 10.17私立の華族学校開始 天皇臨席し「学習院」の称号を与える</p> <p>GA リーランド日本政府正式に起用《脚注》 リーランド体操伝習所教員に就任東京師範学校長補伊沢修二体操伝習所主幹を兼務 坪井玄道体操伝習所の教員となりリーランドの通訳リーランド、運動の身体的効果を活力検査によって測る(学校身体検査の始め) WS クラーク〈札幌農学校第1年報〉の跋言で「冬間及び雨天の時体操や武芸を演習するための家作＝体育館設置を切望する」</p> <p>平岩宣保体操伝習所教員に就任(東京師範学校教員を兼任) 東京師範学校、活力統計表の様式を定める・・全生徒の身長より力量に至る諸局部の現数及び増減を記載 〈教育雑誌〉にフランス人テリー「女子体操論」掲載 教育令發布土地の状況に応じて唱歌・体操などは随意科として実施 体操伝習所・女子師範学校生徒・東京師範学校に活力検査を実施 体操伝習所、府県公私立学校教員など特志者に限り入所を許し体操術の初歩を伝習し得る法を設ける</p>	<p>2.5西南の役始まる(9.24終わる) 政府インフレ政策をとる 東京に立教女学校開設 大阪に梅花女学校開設</p> <p>日本基督教伝道会社設立 春季皇霊祭(春分の日) 秋季皇霊祭(秋分の日)をおく 築地の新栄教会で第1回全国キリスト教信徒大親睦会開催 神奈川県横浜公園の内3025坪を外人のクリケットグラウンドとして書記ALW ロビンソンに貸与これがYMCAの前身 横浜市婦女寺鞠社に山手公園の地を貸与してテニスコートを設置</p> <p>文部省内に音楽取り調べ掛設置伊沢修二音楽取締り用掛けとなる 同志社第1回卒業式 長崎活水女学校開設 永生女学校(現プール学院)開設</p>

#### アマースト大学

1821年に創立された大学には日本に影響を与えた人達が学び、後日、日本明治期の教育界を支えた人々が留学している。リーランド氏も本学卒業生であり札幌農学校に招聘されたW.Sクラーク博士も出身者である。新島襄氏、神田乃武氏、内村鑑三氏をはじめ明治政府より派遣されて留学した者も数ある。岩倉視見欧米団もアマースト大学を視察している。

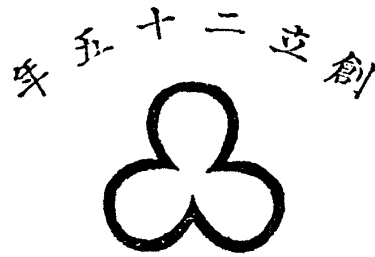
神戸女学院			
年号	西暦	院長・学長・担当者	事 項
明治13	1880	吉田作彌教師に就任	3. クラークソン校長5年制の新課程を発表《資料6》 この秋、タルカット女史岡山の伝道事業に専念するため神戸を去る ダッドレー・ハロウズ両女史婦人伝道に専念しホームを去る これまでは宗教々育を主として学校を従とする傾向があったが、今 度は學科を主として合せて基督教的信仰を養ふ方針に立ったのであ った。爾來我校は決してこの精神を棄てはせぬ、否今後何十年経た うと何百年経たうと決して棄てないであらう。これを捨てた時、そ れは我校の滅亡を意味するものである。
明治14	1881	山内松鶴教師に就任	クラークソン校長は塾のようなものから組織的な中等程度の学校と した クラークソン女史の構想は日本女性に対する高度の知的教育であつ た 日本女性に欠けていた自然科学教育に力を注ぐ点が従来の教科内容 と際立った相違を示していた 吉田作彌氏（クラークソン女史も）英文教科書を用い物理化学等を 講じていた 在籍者数：70名 クラークソン女史発病
明治15	1882	1. クラークソン女史 婦米タルカット女史 が校長を代行する 11. ブラウン女史着 任	12. クラークソン校長計画による最初の卒業生12名。（最年長：27 歳・最年少：15歳が送り出された）（第1回卒業式）卒業證書を授 与したのはOH ギューリック氏、同志社教授デビス博士が勤告演説 吉田作彌の哲学の授業に感銘を受け生徒達は6月で講義が実結して いないので自ら6ヶ月卒業を延期してもらうことを願ひ出講義の実 結を待って卒業式を迎えた 卒業後も1983年3月まで勉学を続けるものが大部分であった
明治16	1883	〈ブラウン校長時代〉 3. 吉田作彌氏辞任 原田助氏（同志社出 身）赴任 10. ソール女史着任	体操担当者ソール女史《脚註》

#### ソール女史

明治十六年渡来の時には、生徒達はブラウン校長の他にもカレッジの卒業生でしかもブラウン校長の学校（カルトンカレッジ）の先生だった人といふので非常に喜び迎へた。寄宿舎の方からいつも黒地に茶と赤とで格子の縞のある肩かけをして教室の方へ通はれる先生を思ひ出すと、一同窓生は記してゐる。英語会話、英語読本、英作文、数学、体操等、音楽を除いては高等科の学科の殆ど全部を教授した。（50年史 P31）

社 会 一 般	
学校社会体育関係	事 項
<p>投鞠流行 蹴鞠の復活 体操伝習所松野久良々を雇い体操伝習の間にピアノ伴奏 体操伝習所生修学の余暇に操槽法を練習 体操伝習所教則を改正しおもに生理学の講究を奨励し解剖学は動物を解剖・顕微鏡の使用を教えるなど実験実習を重んじる 12.28改正教育令発布…児童養護のため過度の就学を強制しないよう配慮、体操は土地の状況に応じて加える</p> <p>リーランド氏帰国 大阪中学校に屋内体操場竣工 (’85には華族女学校にも完成) 〈小学校教則綱領〉判定 小学校高等科4年生に「生理学」を配当「養生法講義」は生理の中に含められ教科目としては廃止 体操は初等科の初め適当な遊戯で漸時徒手運動におよび中・高等科では器械運動を成さしむべし 学習院第3次学則で実学科に器械体操・生兵練法、高等科に器械体操・馬術・撃剣 師範学校教則大綱領制定15条「体操は適宜これを課すべし」 体操伝習所：和漢学・数学の2科を廃し体育論の1科設置</p> <p>(体操機械運動具店) 開業 運動具店美満商店東京本郷で創業 新橋アスレチッククラブ品川に野球場新設…1ヶ月の会費1円球場は土曜ごとにロールを施し、球棒・面・胴・などすべてアメリカ製(アメリカスポルデック会社より寄贈) 東京専門学校東京飛鳥山で運動会開催</p> <p>学習院に柔道場、嘉納治五郎が指導 ストレンジ氏 aut doar Games を出版 東京府東京教育読会に小学校の体育実施方策を諮問 京都市明倫小学校女子の体操授業延期の伺いを出す スポーツ振興を目的とした東京遊戯会体操伝習所発表会式挙行 東京府中学校規則改正を機に体操を教科時間内に編入 活力統計表の作成を義務づける</p>	<p>日本基督教青年会(YMCA)東京に創立 音楽取調掛がアメリカに注文した楽器楽譜類到着 基督教青年会上野精養軒で野外大演会開催</p> <p>10.12国会開設の詔出る 学校教員品行検定規則を定める 杉田玄端英語 Recreation を(復造力)と訳出</p> <p>全国の人口3670万118人、内98万2143人が東京 大隈重信ら東京専門学校開校式を挙行(後の早稲田)</p> <p>舞踊室・撞球室などを設け鹿鳴館開設 女子教員及び女子師範学校・高等女学校の生徒が袴をつけ靴をはいていることが風俗の浮華にはしる行為とされ問題になる</p>

神戸女学院			
年号	西暦	院長・学長・担当者	事項
明治17	1884		夏. 校舎増築 (寄宿舍) 第1回生渡辺常教師に就任 第2回卒業生8名
明治18	1885		9. 東隣白州氏廃宅を寄宿舍 (東舎) に改造する 高等科設置《資料》 この夏校章を制定する 『三つ葉のクローバーをかたどった校章を定め、身体・精神・靈魂の三者の一致調和した完全な人格の育成をめざす学校の理想を顕揚する』 12. 創立十周年記念式 『学校標語として「イエスを仰ぎて」(Looking unto Jesus) を選ぶ』 第3回卒業生8名
明治19	1886		1. ブラウン校長学校移転を提唱する ブラウン女史が博学多能で、理科・神学から洋裁・唱歌まで教えた 9. 洋服を着るものが多くなった為にいち早く洋裁の教師を招き初めて洋裁教授を行う



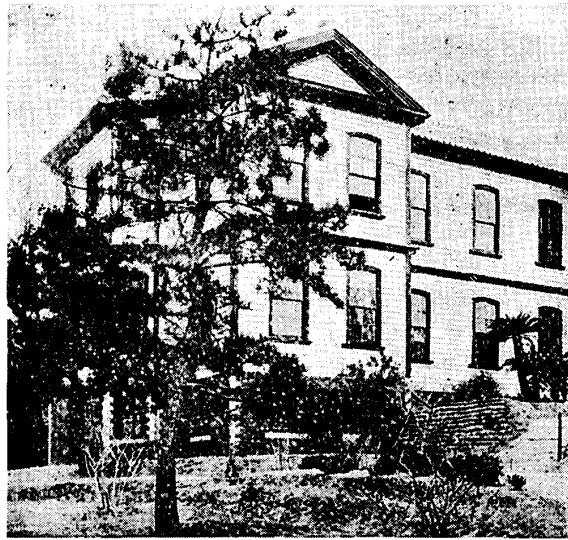
「基督と望む」  
フリファイル  
青、白、  
(本年標語)  
(校章)  
(校色)

創立25周年記念祝日の引出物とされたらしい「略史」にあらわされた校章



社 会 一 般

学校社会体育関係	事 項
<p>坪井玄道「小学普通体操法」            慶應義塾・青山学院・明治学院に野球部創設それぞれに外人コーチを雇う</p> <p>文部省：小学校令公布に先立ち府県に〈小学科課程表〉を通牒尋常小学校では遊戯、高等小学校では軽体操と隊列運動を行うこととする            坪井玄道「手外遊戯法」            高等師範学校女子部、洋服を採用学校でダンスの稽古をする            文部省：兵式体操実施を達示            東京府運動会挙行を届け出許可制とする</p> <p>学校令が制定され体操科に兵式体操が加わる            師範学校令・小学校令・中学校令・各公布・学校制度の基礎かたまる            〈小学校令〉により、体操は正課としての地位が確立されたが、保健学習を担当していた「生理学」は姿を消す            帝国大学および同理科大学、学生の共同で自転車1台購入、運動を目的とした自転車会を創設            横浜内田町の原で、横浜学校の春季大運動会を開催、体操および綱曳きなどを行う            帝国大学運動会設立10月陸上運動会開催</p>	<p>鹿鳴館第1回婦人慈善市を開催（同館7月頃）より毎週西洋舞踊練習会が開かれ夫人令嬢ら集まる</p> <p>運動競技会の手初め土佐に競争健足会社設立            医家松本順（良順）神奈川県大磯に海水浴場を開く</p> <p>4月スタート3月31日終わりの4月学年制の初め            帝国大学詰襟洋服を制服・ヨーロッパ風の菱形帽を制帽と定め11. 11より実施            舞踏会で会員に舞踏奨励のため1等から5等までの卒業証書授与            埼玉県体育会設立（地方体育団体の初め）            横浜公園内で午後2時頃より横浜居留の外国人らが競争会を挙行夕方終了            高等師範学校女子部、高等女学校生徒と帝国大学学生を集めて舞踏会を開催            大阪 YMCA に（大阪体育会）を組織            神戸 YMCA 創設</p>

神戸女学院			
年号	西暦	院長・学長・担当者	事 項
明治20	1887		従来の本科を改めて予備科2年、本科4年とし高等科を2年制とする 白州氏旧宅及びその敷地を買収する 講堂を新築する
明治21	1888		1. 新講堂落成式  新講堂 50年史より
明治22	1889		学年聖句のはじまり ブラウン校長「テモテ前書」第5章2節 「貞潔を尽くすべし」 「外国伝道会」5月に組織（校内宗教活動の初め） 米国の一少女から日本人の伝道活動の一助にと10ドルを学校に送ってきた 毎月二銭を負担し積み立て外国伝道の為に献金 初年度20円 次年度40円 和文学会創立
明治23	1890		7. 京阪神キリスト教主義女学校教師協議会が学院にカレッジ設置を要望する 8. 30以文会を組織し、雑誌『めぐみ』を創刊する キリスト主義学校が信徒たる女教師を自ら養成するカレッジを有する必要を確認その場所として神戸英和女学校の高等科を拡充し、これに充てる方針 宣教師ホルブック女史（理科教師に就任）の助言 米国に留学させるには、英和女学校の卒業生が米国の大学に入学を認められる程の完備にした高等科を持たねばならない 文林“運動”に関する記事あり（第2号）《資料3》
明治24	1891		1. 本科高等科を予備科2年本科3年と新たに3年制の高等科を置く（資料7） ブラウン校長 神戸英和女学校入学案内に「本校の目的は（中略）キリスト教の道徳により智徳を併進せしめ、他日良妻賢母たらしむる事を期す」と明記

社 会 一 般	
学校社会体育関係	事 項
<p>横浜開港地で外人をまねしてピンポン開始 京都体育会、下加茂神社境内で春季大運動会を開催、この頃京都では運動会が洋服着用を促す機会になる 華族女学校、体操の正課採用を機に〈生徒制服制限〉を定め、洋服着用を義務づける 東京女学校で茶の湯やダンスも教授する 帝国大学正式に第1回陸上運動会開催</p> <p>一ツ橋の高等女学校の生徒を、医科大学の三輪徳寛・加藤照磨専任で身体検査 文部省、直轄学校に対し、学生生徒の活力検査に関する訓令を発し毎年4月活力検査を行い、結果を翌月中に報告するように規定（定期身体検査の初め）</p> <p>東京府体操科教員学力検定試験に兵式体操を追加 体育奨励のため、私立小学校も公立小学校と同様に管轄警察署の許可なく運動会の開催が可能となる 山梨県女子師範学校生徒、体力養成・実地修学のため京都地方へ旅行（女学生修学旅行の初め）</p> <p>横浜公園でイギリス人スペンサーが軽気球に乗って上空に飛上し、パラシュートで降下19日再度挙行 アメリカ人ボールドウィン横浜居留地の空地で軽気球乗りを演ずる 仙台城址の濠で外人宣教師、スケートをする</p> <p>文部省：〈小学校祝日大祭日儀式規程〉を定め、祝祭日の儀式の一部として体操上・野外での遊戯・体操を奨励 8.日高藤吉郎「日本体育会」創設（今日の日本体育大学の基礎となる）第1体育場を神田錦町に設置 同志社第1回水上運動会、石山で挙行 帝大第5回陸上運動会、競技種目より440ヤード以上の距離が除かれる ネイスミス、バスケットボールを考案（アメリカ）</p>	<p>皇后婦人に洋裁を勧告する思召書を下付、以後、上流婦人の洋裁広まる 上流社会の欧化熱さかんで舞踏会に多人数入会 伊藤首相内外の貴顕を鹿鳴館に招いて仮装舞踏会開催 東京木挽町でスパーラ（ボクシング）とラスラ（レスリング）の興行 京都府で壮士による自由大運動会（競馬・綱引きなど）開催</p> <p>文部省編輯局長伊沢修二、初代東京音楽学校校長兼任磐梯山大噴火 山体破裂 横浜壮年協会「ピクニックパーティー」と称して野外遊歩を実施</p> <p>2.11帝国憲法が発布される 山形県鶴岡市で仏教各宗派共同忠愛会が貧困児童に就学奨励の意味で昼食を給与（日本における学校給食の初め）</p> <p>10.25第1回帝国議会在が召集される 10.30教育勅語が発布される ラフカジオハーン（小泉八雲）来日 9月より松江中学校教師となる 北里柴三郎ジフテリア及び破傷風の血清療法を発見 女子および少年の労働制限 1日12時間以上就労制限</p> <p>5.滋賀県大津で巡查津田三蔵、来日中のロシア皇太子に切りつけ傷害（大津事件） 東京で女学生および中流以上の令嬢に紺足袋流行 東京音楽学校の卒業式で「君が代」歌われ、先例となる 第一高等中学校始業式で講師内村鑑三、教育勅語に対して拝礼せず</p>

神戸女学院

年号	西暦	院長・学長・担当者	事 項
明治25	1892		旧家政・衛生・保育等の教科を本科に加え、生け花・茶の湯など随意科を置く 高等科生徒のために料理実習の設備を整える 6.25高等科が初めて卒業生を出す 同窓会設立
明治26	1893		ソール女史校内に「キリスト教信徒共励会」を設立 理学館・音楽館建設
明治27	1894		11. 日本人教員有志が院長を日本人名義とすることを要請した校名を「神戸女学院」と改称する 院歌が制定される 『女学院規則にも「本院の目的はキリスト教の道徳に基き普通教育を施し、以て淑良有用なる女子を養成するにあり」と記し、高等科の目的については両方とも「普通科卒業後なお高等の学術をおさめんと欲し、もしくは他日教育等に従事せんとする者等の為に設けたるもの」というだけで伝道者養成には言及しない



音楽館 50年史より

社 会 一 般

学校社会体育関係

イギリス公使館内にテニスコート設置  
 5. 慶應義塾体育会結成'78剣道部、'84の野球部、  
 '89端艇クラブなどを総合し、剣術・柔道・端艇・  
 弓術・操練・徒歩の各部より成る

文部省、女子の就学を促進するため小学校になるべく裁縫の教科を置くよう奨励  
 文部省令により、女生徒の競争遊戯、不適當とされる

4. 23井上文相、第1地方尋常中学校長会合で衛生・  
 体育の重要性を強調  
 札幌農学校第14回遊戯大会開催  
 慶應義塾大学の運動会で、担架競争・スプーン競争・  
 二人三脚・盲目球拾い・焙ろく合戦などの種目を加わる

文部省、〈小学校における体育および衛生に関する件〉訓令、  
 一般教育界の知育偏重の傾向を注意、小学校の運動会など盛んとなる

ベースボールに「野球」の訳語用いる（一高野球部史序文による、  
 三高では底球・基球などの訳語あり、また庭球ともいわれた）

三島通良、井上文相の命を受けて日本人の体格ならびに健康問題を調査報告  
 帝大第8回陸上運動会開催  
 華族女学校第1回運動会開催

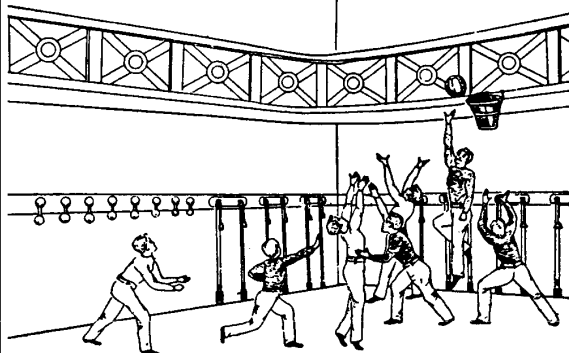
事 項

アメリカで最初のガソリン自動車完成  
 11. ケーベルタン、フランス体協50周年記念に際し、  
 古代オリンピックの復興を提案

文部省、「学校生徒の官吏送迎ならびに遊歩運動につき注意の件」発令、  
 遊歩運動で服装華美になる点をいましめる

日清戦争おこる  
 初めてのオリンピック・アマチュア規定作成

最初のバスケットボール競技。(日本学生石川源一郎のスケッチ)

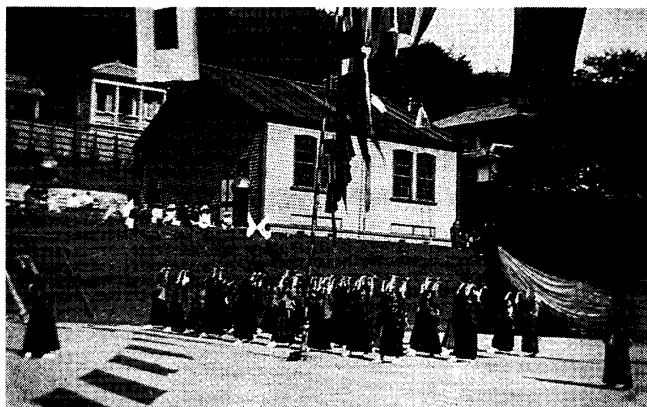


梅花女学校対神戸女学院テニスの試合



梅花学園所蔵

神戸女学院				
年号	西暦	主として体操担当者	事項	体育関係
明治28	1895	ブラウン校長 ソール女史代行 (M25~M32)	11.25創立20周年記念式	3.25本院に於て生徒の健康を保たん爲め従来体操の設ありしも在来の衣服のままにては自由に手足を動かし筋骨を強せんと十分ならず常に不便を感じ居る折吟米国なるウェルスレー大学より篤志の人々体操服を適当に新調せよとて当院へ金子若干を寄付させられたり故に吾等大に喜び早速適当なる服を新製し当夜始めて其服を着して体操をなしたり (第11号) 春季運動会廃し大博覧会に臨む (第11号)
明治29	1896		3.予備科2年、本科3年を併せて普通科5年を置き3年制の裁縫専修科を付設する	院外運動 普通科生の教師に導かれ野に山に時には遠く海岸まで四時十五分より五時迄運動をなし高等科生は別に監督者なく二人以上自由に諸方にいでゆくを得 体操 一週二度 (月木) 午後五時半より三十分間普通科三年生迄は赤きタスキをかけ唾鈴の躰操をなし上級生は八時十五分より洋服様の体操服を着し棒と環との体操を各々音楽館体操室に於てピアノと合して爲し居れり 体操の服は先年米国ウェルスレー大学より特に寄贈されし金にて購ひし濃き皮色のイギリス子ルにて造りし婦人の袴の上に筒袖の襦袢様のものを着けたるものにて生徒は其身軀に相應のものを選びて借る事となせり軽便よして身体自由に動かし易く婦人の体操には至極適切せるもの如し同窓の諸姉学院を訪ねらるる節には此服をつけて体操する生徒方の如何なるかを一覽せられん事を願ふなり (第14号) 塚本先生「我等が登山することは精神上大に得る處あるを信ず故に精神養ふために登山勉められよ」 (第14号) 5.18春季運動会はこれまで須磨の浦に開きしかは今年は新しき地、和田の岬定める (第14号)



唾鈴体操 西山敏子名誉教授所蔵

社 会 一 般	
学校社会体育関係	事 項
<p>6. アメリカの教育者ノースロップ、華族女学校で呼吸体操について講演 11. 帝大第9回陸上運動会 神田川小川町にローラースケート場開設 横浜市公園で、秋季クリケット競争会開催</p> <p>オリンピック運動会の紹介記事、初めて掲載 嘉納塾で塾生矢作栄蔵ら鉄啞鈴体操を研究 学校の運動会が興行的傾向を帯びてきたという避難が、雑誌に現れる</p>	<p>6.30下関条約により日清戦争終戦 ホリヨーク YMCA 体育主事の WC モルガン、バレーボールを考案 アメリカ人 C セーラー、天津 YMCA 学校で初めてバスケットボールを指導</p> <p>ドイツ人レントゲン、X線を発見 6.14第1回オリンピック大会アテネで開催 参加国13・参加者285・メダル数1位アメリカ 金11、銀17、銅2</p>

後方の建物は雨天体操場



棍棒体操 西山敏子名誉教授所蔵

神戸女学院				
年号	西暦	主として体操担当者	事 項	体 育 関 係
明治30	1897			
明治31	1898		5. 裁縫専修科が廃止される この頃、生徒にはかまの着用をすすめる	
明治32	1899	8. ブラウン校長辞任 ソール女史院長就任	4. 始業式 以後学年始めを4月に改める  7. スクール・カラー及び校紋制定 11. 24私立学校令により学院の設立が認可される	
明治33	1900	イーエスショー (M32.9-M34.6) 塚本不二	6. 27市役所より教育勅語 謄本下賜 11. 12創立25周年記念式	通学生にも体操を課し、塚本師は尚塾生の体操をミスショー、新式エモルソン氏体操を授けられる (第22号) エル、エム、バヂキンス体育に関して実験せしことを話せらる (第23号) 運動会委員ハ松田西山イーエスショーなりき (第24号) 春季運動会を開く筈なりしが病人多く且つ雨天の為延期したり (第26号)

#### 私立学校令

明治三十二年は日本の学生八十年史上においても画期的な年であり、小学校令、中学校令、師範教育令に遅れて高等女学校令、実業学校令が交付された。この年八月三日始めて私立学校令が交付された。私立学校は原則として地方長官の監督に属し、神戸女学院が全くアメリカ側の経営に属するとしても、この法令の適用をまぬかれることは出来なかった。「私立学校の教員は相当学校の教員免許状を有するものを除くほかその学力および国語に通達することを証明し (中略) 文部大臣の許可を受くべし」という一か条は外国人の経営または指導する学校にも相当数の練達した日本人教師をおかせるのがねらいであったろうが、学院にはすでに米人教師の倍にも余る日本人教師がいた。学院は勅令に従って手続を行い十一月設立及びソール院長以下教職員につき許可を得、法令上ではこのときを以て学院が創立されたことになる。



社 会 一 般	
学校社会体育関係	事 項
<p>文部省、小学校と師範学校とにおいて、なるべく男女別学にすること、高等女学校の設置積極的に計画することなどを訓令</p> <p>3. 文部省、直轄学校学生生徒身体検査規定制定、内容は、検査の時期(4月および10月)検査者(医師)、検査の項目、用紙の大きさ検査表の保存期間、検査方法および報告など</p> <p>第12議会貴族院・衆議院に体育奨励に関する建議案上程(国民の体格向上のために運動設備の拡充体育教育養成の推進案など)</p> <p>文部省、直轄学校学生身体検査の統計表作成報告はじまる</p> <p>コペンハーゲンのHニルセン、ハンドボールを考案(デンマーク)</p> <p>2. 山口高等学校、11マイル競走を開催(長距離競争の初め)</p> <p>井口(藤田)あくり、スウェーデン体操研究のためアメリカへ3ヶ月留学、体操留学生の初め1903. 2月帰国</p> <p>田中銀之助とEBクラーク(慶應義塾教師)ラグビーフットボールを慶應義塾学生に紹介</p> <p>3. 文部省、女子の師範学校また高等女学校の定期試験の方法ならびに月経時における体操科の取り扱いに関して注意</p> <p>3. 文部省、学校生徒喫煙禁止を訓令、学校職員も学校内ではいっさい喫煙禁止</p> <p>東京帝大運動会、ヤード制を廃止メートル制を採用</p> <p>7. 日本体育会調査の日本人体格色別表による「徴兵適齢者甲種合格者の職業別百分比例」、「文部省直轄学校制との体格比例」掲載</p>	<p>6. 「京都帝国大学」設立、従来の帝国大学を「東京帝国大学」と改称</p> <p>6. 30最初の政党内閣が成立する フランス人キューリー夫妻ラジウム発見</p> <p>7. 17改正条約施行</p> <p>8. 1文部省訓令により教育を宗教の分離が規定される</p> <p>8. 私立学校令を公布(外国人経営の学校に対する監督を強化など)《脚注》</p> <p>高等女学校令《脚注》 実業学校令</p> <p>7. 14 22 第2回オリンピック大会、パリで開催 参加国20・参加者1066・メダル数1位アメリカ 金26、銀15、銅12</p> <p>デビス、英米対抗のテニス試合に銀製のカップを寄贈 デビスカップ選手権の始まり</p> <p>9. 14津田梅子、麴町に女子英学塾を設立</p> <p>12. 5東京飯田町に私立東京女医学校開設</p>

#### 高等女学校令

学院として一層問題を感じたのはこの私立学校令そのものよりも、勅令と同日に文部省が発した訓令十二号であった。「(前略)課程外たりとも宗教上の教育を施し、または宗教上の儀式を行うことを許さざるべし」というのである。学院はもとより官立公立学校ではなく、また「学科課程に関し法令の規定ある学校」でもないから、この訓令によって学院の宗教教育施設が影響をこうむることは少しもないはずであった。しかしこの年二月に始めて交付された高等女学校令は、都市町村および私人もこの勅令により高等女学校を設置することができるようにした。高等女学校令による学校であれば私立でも「法令の規定ある学校」であるからそこで四か年の課程を修了したものは女子高等師範学校の入学資格を得ることができる。宗教教育学校がこういう中で存在し競争しようとするればその本来の目的を捨てて「法令の規定ある学校」に転身しなければならなかったがソール院長は急がず宗教教育の内容充実の為に見えない努力を続けた。

#### 専門学校令

明治四十二年十月八日専門学校令により許可を得て、従来の高等科を拡充して専門部を設立。また普通科、音楽科をそれぞれ普通部、音楽部と改める。なお普通部は大正六年に高等女学部と改称した。

神戸女学院				
年号	西暦	主として体操担当者	事 項	体 育 関 係
明治34	1901	シー・エフ・キース 大熊蓮子		キース教師体操科の一助としてテニス教授せらる有志五十三名（第27号） 大熊蓮子今期より教授の任取らる（第27号） 3.22〈高等女学校令施行規則〉制定 体操科の内容は普通体操の遊戯となる 3.27文部省、学生、生徒身体検査規程中一部改正脊柱及び体格検査法ならびに標準を示す 11. 本月より塚本教師は暫く休養せらる 11.1例年の通り秋季大運動会を催し須磨に行く
明治35	1902	1. 塚本不二子辞職		塚本不二子1月辞職せられたり（第28号） ホルブルック氏 歓迎会の余興として、園内にてロンテニスの競争ありたり（第29号）
明治36	1903		高等科の課程を一部改正する ソール先生就職20年記念祝賀会	4.18体格試験あり（第31号） 2.28体育奨励のためスタンフォード夫人審判下にテニス競争ありたり 3.7終日テニス・クロケー・バスケットボール等の競争あり勝利者に賞品9：00～（第31号） ミスキース帰院、引き続き教授（第32号） 10.28秋季運動会 明石 大熊蓮子豫て体操科研究の為上京中

羽太（大熊）蓮

高等科第十八回卒。神戸女学院教師（明治34～40年）、地理、体操担当。のちアフリカで活躍。  
（明治40年～囑託）

（神戸女学院百年史）

社 会 一 般	
学校社会体育関係	事 項
<p>5. イギリス撞球名人ジョン・ロバーツ夫妻来朝 10. 東京の帝国教育会で、イギリスのヒューズ嬢、女子教育について語り、スウェーデン体操を体育の最良法として紹介</p> <p>4. 20成瀬仁蔵ら、日本女子大学校を設立 10. 22第1回運動会を飛鳥山で挙行 坪井玄道、欧米視察から帰国、卓球・フットボールはその時のみやげと伝えられる 8. 日本体育会、上野、浅草、芝、坂本、深川の5市内公園に双輪・回転鏡・しゅう轆（せん）固定円木・鉄棒などの運動器械を設置 三島通良（欧州小児の発育と自身で調査した日本小児の発育とを比較対照し、その差異をあげ、結論として日本人は早熟人種であると論断） 2. 文部省、高等師範学校・女子高等師範学校および師範学校入学志望中、心身障害あるものの入学禁止を指示 10秒24の100m 走・藤井実（世界新）</p> <p>井口（藤田）あくりアメリカより帰国女高師教授となりスウェーデン体操を紹介《脚注》 福岡県、心臓病に罹る高等女学校生徒の体操科免除卒業認定方に関して問合わせ 坪井玄道、ドイツのダンス・行進遊戯を紹介 1. 12日本体育会に女子部設置 校医：鶴飼氏第2回衛生講話あり 題「学校衛生」</p>	<p>5. 警視庁ペスト予防、風俗改善のためハダシでの外出を禁止 第1回ノーベル賞（レントゲンほか） ベルツ、月曜会で女子の服装改善を講演 女学生の袴着用が問題になる</p> <p>1. 30日英同盟条約調印 女学生の間にベースボール流行、ピンポン始められる 5. 24神戸ゴルフ倶楽部会場式 10. 自転車取締規則改正、夜間は橙火を点ずること、長大物を携帯したり、下駄をはいて乗ることなどを禁止 小学校への就学率、初めて90%を上回る（通学率は68.4%）</p> <p>ロシア人パブロフ、この頃条件反射の現象を発見、大脳生理学の基礎を築く アメリカ人ライト兄弟、飛行機（16馬力複葉機）で初めて飛ぶ 5. 24日本最初の六甲ゴルフ場開場（9ホールズ）神戸ゴルフ倶楽部開場式（翌'04. 10月には18ホールズ完成） 日本基督教青年会（YMCA）の全国的組織成立</p>

井口あくり（1870～1931）

秋田市に生まれる

わが国における近代女子体育の最初の指導者である。

1899年（明治32）女子体育研究のため、最初の文部省留学生としてアメリカのマサチューセッツ州スミス大学に入学。生理学と体操科を専攻する。

1900年（明治33）ボストン体操師範学校に入学。解剖学、生理学、体操科を専攻する。


1903年にアメリカよりスウェーデン体操を学んで帰国

女子高等師範学校内に『国語体操専修科』を新設し、教授に採用された。これが女高師での体操専門教師養成の始まりである。

1911年（明治44）結婚のため女高師を退職するまでの8年間スウェーデン体操を教授した。

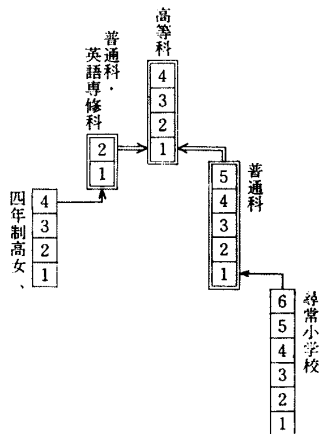
その後、各地の講演会、体育講習会において積極的にスウェーデン体操の理論を述べ、実技を指導しその普及につくした。

神戸女学院

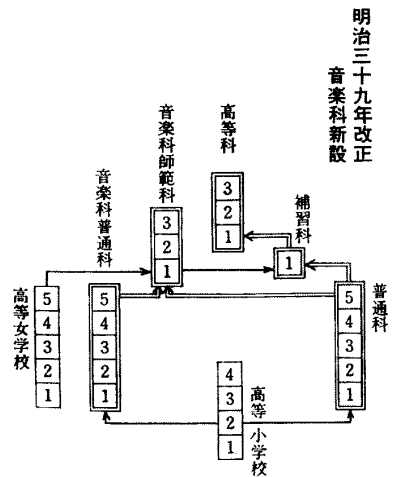
年号	西暦	主として体操担当者	事項	体育関係
明治37	1904		12. 徽章が制定される  (阪神大震災時に出てきたお皿のマークより校章を再現した)	大熊蓮子帰院 4月より母校に教鞭(第32号) 4. 12体格検査を行う(第35号) 5. 6臨時休業してテニス、クロッケー、バスケットボール及体操の競技会を催せり、専ら体育奨励の爲めにして要するに成績は昨年に比して頗る良好、生徒の健康上得る處亦尠からざりき(第35号)
明治38	1905		4. 24創立30年記念式 4. 学科組織を改め普通科の入学資格を高等小学校2ヶ年終了とし補習科を付設し、また新たに音楽科を設けた(資料8・9) 7. 12ダッドレー女史カリフォルニアで永眠 10. 5同窓会が募金計画を進める	9. 23ミスキース結婚 10. 18秋季運動会、天気不良のため順延して今日に至れり遠足す。大阪の築港見物西宮・摩耶山登り(第38号) 自治会組織教師界の承認を得る
明治39	1906		7. 1雨天体操場建築費不足を補う為にとバザーを生徒諸姉によって催す	10. 26全校の運動会、京都、播州、明石、摩耶の4部に別れて一日運動す(第41号) 大熊蓮子、羽太富氏と結婚 1月元日(第42号)

専門学校令により従来の高等科を拡充して専門部設立。  
 また、普通科・音楽科をそれぞれ普通部・音楽部と改める。  
 なお、普通部は大正六年に高等女学部と改称する。

明治四十二年改正

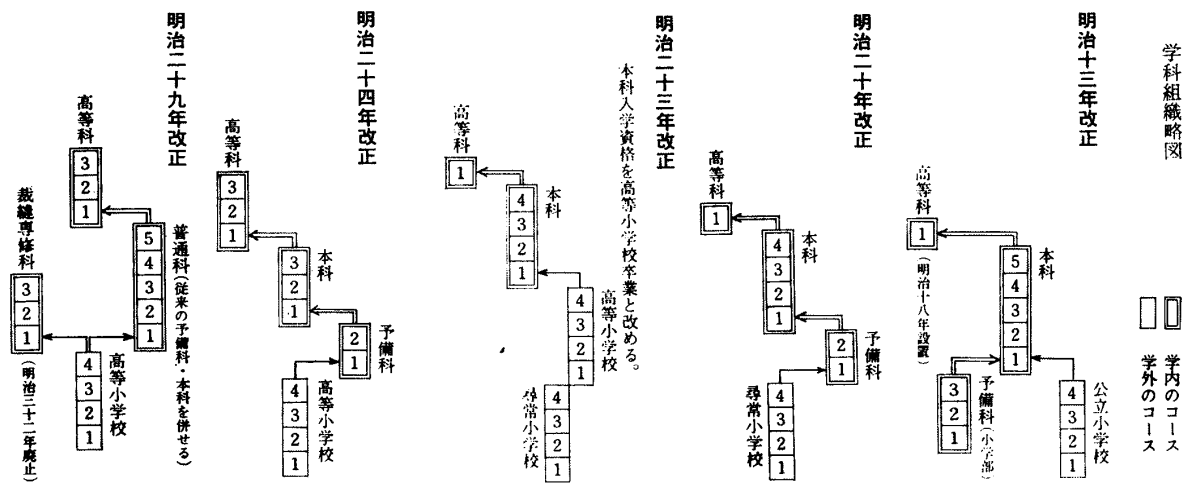


明治四十一年改正



社 会 一 般

学校社会体育関係	事 項
<p>6. 久保田文相、女子体育の振興を強調            9. 学生生徒身体検査規程の一部を改め、検査時期を毎年4月実施に改定（従来は毎年4月と10月の2回実施）            神奈川県立高等女学校長新原俊秀「女学生の学生服改良に関する建議」を久保田文相へ提出、女子体育の奨励は服装改革にあることを訴える</p> <p>女子の運動方法発達につれて、女子の特点を失い品位を下げるのではないかと批判警告            5. 文部省、師範学校、中学校、実業学校等生徒に夏期休業中水泳練習を督励するよう、それぞれ通媒            9. 横浜フェリス女学校、毎日12時40分ー1時20分まで生徒に昼寝をさせる</p> <p>11. 藤井実、東大の運動会で棒高跳び3m90の世界新記録を出す            11. ホッケーがダブルリン大学選手で宣教師として来日したグレーによって慶應に紹介され、慶應ホッケークラブ創設</p>	<p>2. 10日露戦争起こる            8.29 9.20第3回オリンピック大会、セントルイスで開催            参加国10・参加者496・メダル数1位アメリカ            この頃、子供のメンコ遊びがはやる、そのために親の金を持ち出したり、友達の所持品を盗むなどの行為が続出            京都で女の自転車乗り現れる            4. 全国の小学校において、国定教科書を使用開始</p> <p>10. 日本基督教女子青年会（YMCA）創立            9.5ポーツマス条約により終戦            9. 日本最初の婦人ゴルフ競技開催（神戸六甲山上コース）            9. ニッポン最初のゴルフ・ロング・ドライビング競技開催（六甲山上コース）            IOC、オリンピック・チ・プロマを制定、第1回はルーズベルト大統領に授与</p> <p>ドルフィンガー、六甲山上ゴルフコースではじめてホール・イン・ワンする            4.22 5.2特別オリンピック競技記念大会19ヶ国295人の選手によってアテネで開催</p>



神戸女学院				
年号	西暦	主として体操担当者	事項	体育関係
明治40	1907	中島キク	1. 30神戸女学院理事会設立 同月、自治会創立 3. 21小学校令改正に伴い尋常小学校6ケ年をもって普通科入学資格とする	4. 9新任体操教師中島氏を紹介（第43号） 4. 13建築係オルチン氏の提出されたる体操室建築の件は費用不足のため決議する能はず（第43号） 5. 7午後より前日の運動会を續く體操は中島教師の教授宜しきを得たれば活潑に且は美しくテニス、バスケットボールの競争も亦大に見るべき者ありきテニス選抜競争は旧五年級より後藤いほり、山崎文子を新五年級より三上光子安井すま子を選出して大決戦を試みしが勝は旧五年級に帰したり 5. 体格検査統計表調査（第43号）《資料5》 9. 秋季運動会 新5年級は奈良より京都
明治41	1908	ミセス・ツルーマン（ミス・ハッキング）	10補修科を廃して高等科4年制とし普通科に英語専修科を付設する	3. 23校内運動会を催し、体操奨励に資する寄付報告、遊動圓木のため、体操室建築費へ 葉書集、わが学院の運動界は体操に中島教師、テニスにミスゴードン、バスケットボールにミスベティー（脚注）とそれぞれ一流の教師を備えているが学課に忙しい為か十分活動しないのは実は惜しいことである（運動家） 異郷の空にも秋は来り運動の好期と相成りバスケットボール、ローンテニスなど中々盛んにて候来春はミルスカレーヂ及びカリフォルニア大学のバスケットボール選手、観光かたがた太平洋を渡り御国に参り神戸女学院の同選手を勝負いたすよし（在米の運動家） 学院のクロッカーの道具は見事に塗り替えられ岡山の花畑の貧児養育所に送られし（第45号） 雨天体操場改築《脚注》 雨天体操場建築費の為幻燈会講堂にて開く雨天体操場建築費不足を補う為文芸会を催す（第46号）

中島キク

明治40年～42年5月

神戸女学院教師を辞して大阪清水谷高等女学校に体操教師を務めらる

加藤キミ（囑託）

明治42年～43年

ミセス・ツルーマン（ミス・ハッキング）（囑託）

明治41年～43年

山崎仲江

明治43年9月～大正3年5月

ミスゴードン

明治39年4月～44年5月

英語・歴史担当

ミス・ベター

明治39年～42年6月

英語担当

社 会 一 般	
学校社会体育館関係	事 項
<p>8. 女学校の修学旅行流行</p> <p>1. 長野県、女教員妊娠規程を定め産前産後2ヶ月有給休養となる</p> <p>4. 東京の小学校児童の間で舞踊ポルカ流行</p> <p>9. 全国高等女学校長会議で小松原文相、スウェーデン体操を批判し普通体操となぎなた体操を奨励</p> <p>大森兵蔵アメリカより帰国（YMCA 訓練学校体育部卒業生）バスケット、バレー、陸上競技などの紹介者として大いに尽力</p>	<p>6. サンドウの鉄啞鈴大流行 創始者は体操療法を開始</p> <p>10. 日本アマチュアゴルフ選手権（六甲山上コース三田土ゴムで、ゴム靴を初めて製造）</p> <p>2. 18日本人移民に対する日米紳士協定が調印される</p> <p>7. 1325第4回オリンピック大会ロンドンで開催 参加国22・参加者2059・メダル1位イギリス</p>

雨天体操場について

明治二十年講堂新築 百六十九坪二合（三十九年取毀テ四十一年雨天体操場トナス）

明治四十一年 雨天体操場改築 三十七坪四合

大正六年 雨天体操場増築 六十九坪三合三勺

大正十三年 雨天体操場再増築 九坪五合三勺

前坪数百六坪七合三勺五才

現在百十六坪二合六勺五才

(50年史より)

※雨天体操場ができるまで、初めは講堂、次に音楽館にて授業が行われた。

神戸女学院				
年号	西暦	主として体操担当者	事項	体育関係
明治41	1908			<p>11.3校内運動会を葆光館の庭園において催す、技術進歩の後明らかに見ゆるは、中島教師の苦心によるもの事と感謝の他なし、優勝旗授与後唄へし勝利のうた、運動会順序あり(第47号)《資料14・15》</p> <p>11.23校内運動会を催し体操奨励に資す此日は音拍子の爲兵庫孤児院より樂隊を傭聘す再昨金曜日實行の筈なりしも天氣悪しく爲に延期して今日に至る幸ひ好晴一同歓を盡し技を競ひし時の移るを知らざりき此日バスケットボールにて勝旗を得しは新五年生なりき</p>
明治42	1909	加藤キミ	<p>5.22初めて創立者記念日を守る</p> <p>10.84年制専門部の設立認可される</p> <p>10.普通科、音楽科をそれぞれ普通部、音楽部と改称する(資料10 11 12 13)</p>	<p>5.31礼拝の時を裂いて自治会の催しにより中島体操教師の送別会を開く</p> <p>6.3新たに迎える加藤体操女教師の紹介(第49号)</p> <p>11.3午前11時より葆光館運動場にて校内運動会を開く 運動会順序あり、資料16</p> <p>12.3自治会報告役員会で決議、自治会に運動部を置くこと、教員会に提出する(第50号)</p> <p>「落葉籠」バスケットボール競争(第50号)《P165》</p>
明治43	1910	山崎なか江 1.15ソール院長帰米		<p>11.5校内大会(第51号)</p> <p>山崎なか江(体操)正教員(第51号)</p> <p>11.18秋季校内運動会を催す空いとよく晴れて一同喜にみつ平生練習の功表れて總ての組上出来なりき山崎先生の御骨折もさぞやとうた、推せられぬ同日午前10時運動会の最中なりしも天皇陛下御通輦のため一年生を除く外一同三宮に奉送す。(第53号)</p>

運動会について

同窓会誌初期「めぐみ」に春期運動会、秋期運動会と記述されているのは須磨や明石などに出かける遠足であった。現在開催されている運動会、体育祭なるものは明治41年に初めて校内運動会の名称で運動会順序が残っていて当時の様子がうかがえる。



社 会 一 般

学校社会体育館関係	事 項
<p>6. 岐阜県小学校長会議で筒袖・袴着用に対して、各部女教員より女性美を損ずるとの不平の声がでる</p> <p>9. 帝国教育会の教育倶楽部で都下70余人の著名女子教育家が集まり、若い婦人の男子に対する心得を審議しく新女学生訓十則〉を可決（十則中、若い男女のみでの散歩・遊戯・娯楽などは避難されるべきものとする）</p> <p>12. 札幌農科大学教師スイス人コーラーによって、テレマーク・スキー紹介される</p> <p>東北地方で女学生、積極的に雪中運動            師範学校長会議で、女性とに奨励すべきスポーツとしてなぎなた・水泳・弓・スケート・テニス・羽根つきがあげられる            この頃より、岡田虎二郎〈静座法〉・仁木謙三〈呼吸法〉・藤田靈斎〈息心調和法〉などの健康法賛同者を集める</p>	<p>3. 大阪毎日新聞社主催、大阪神戸間マラソン競争挙行「マラソン」の言葉初めて使用（19マイル56チェーン）金子長之助（岡山）2時間10分54秒で優勝</p> <p>7. ゴルフで最初の外国チームとの競技開催            夏、嘉納治五郎、駐日フランス大使ゼラールおよび外務省の斡旋によりオリンピック委員となる</p> <p>10. ロシア蔵相と会談のためハルビン駅に到着した伊藤博文、韓国人に射殺される            この頃より陸上競技にスパイク靴の使用一般化            上海のYMCA、初めてバスケットボールの試合を行う</p> <p>8. 29日韓合併</p> <p>11. 白瀬中尉ら南極探検隊28人開南丸で芝浦出帆</p>

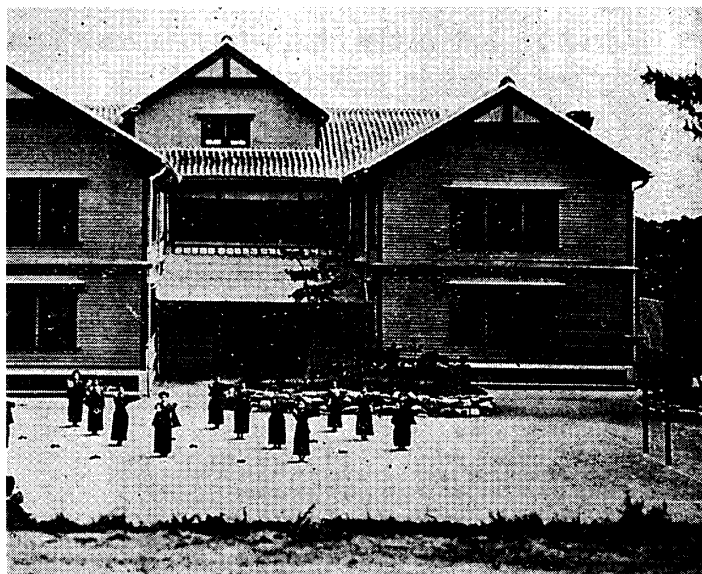
バスケットボール競争 梅花女学校チームと神戸女学院チーム



胸に両校の校章  
 神戸女学院 KC  
 梅花女学校 B

神戸女学院教育文化振興めぐみ会所蔵

神戸女学院				
年号	西暦	主として体操担当者	事項	体育関係
明治44	1911		4. 専門部の学科目に家政を加える 5. 22初めて愛好バザーが催される 9. 10ソール院長帰院 11. 1タルカット女史永眠	
明治45 大正元	1912			4. 6入学試験 合格48名 5. 22学院記念日 余興葆光館の庭 体操遊戯バスケットなどをして一同大満足のうちに女学院萬才三唱を以て終り楽しくお昼を頂く



体操風景（葆光館の庭）

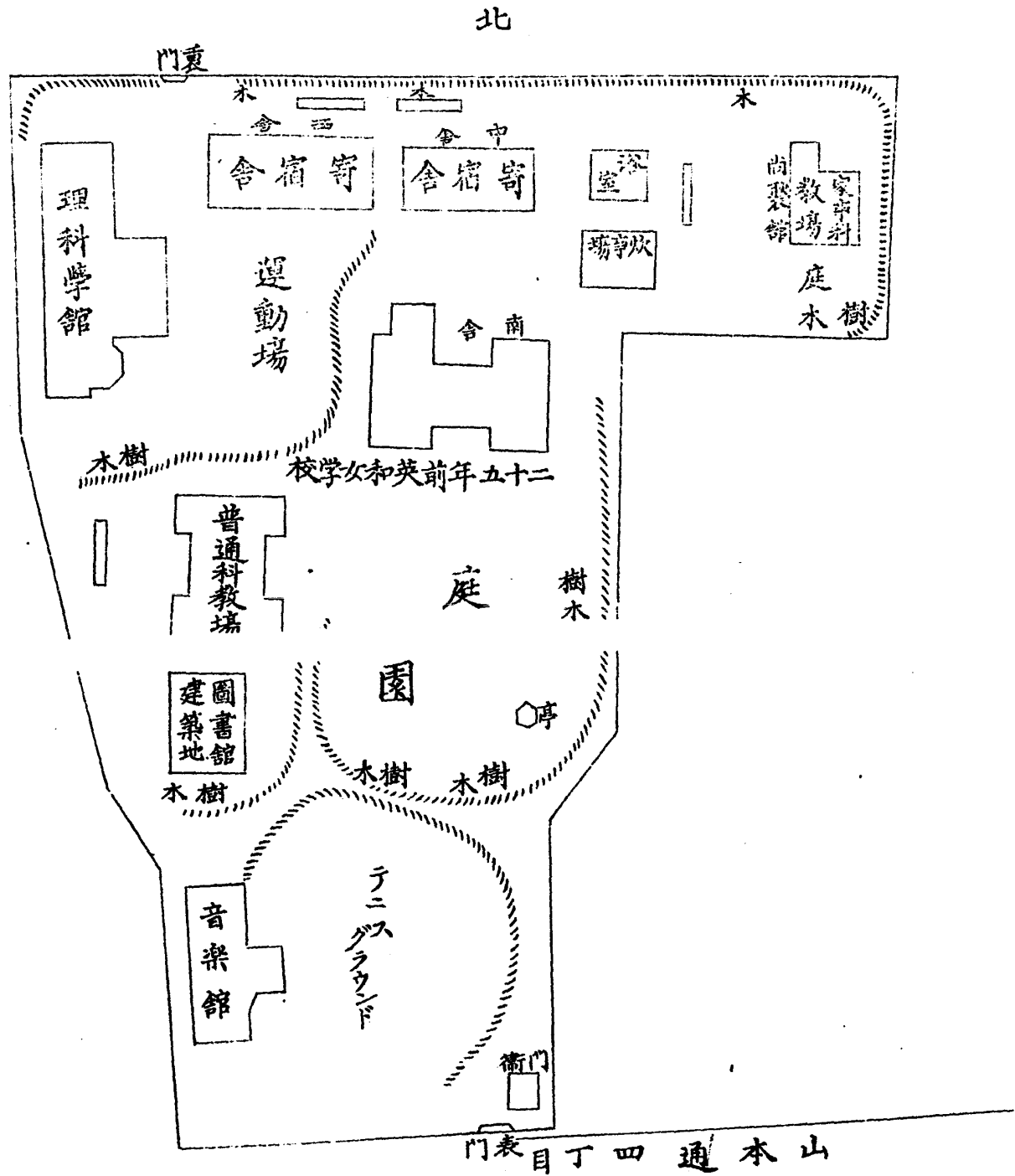
50年史より

社 会 一 般	
学校社会体育館関係	事 項
<p>11.18 19第5回オリンピック参加のため予選会を羽田グラウンドで挙。代表に三島弥彦・金栗四三の2人が選ばれる</p> <p>1. 学生生徒身体検査規定中、一部改正、従来身長・体重などの計測にメートルを採用していたのを尺貫法にあらためる</p> <p>6. 古瀬安俊（学校衛生取調べ嘱託福島県の教員に対し結核検診実施） この時初めてピルケー（ツベルクリン）反応が用いられた</p>	<p>アメリカのフォード、自動車の大量生産開始 この頃、レコード・蓄音器・しだいに普及 ノルウェーのアムンゼン初めて南極に達する</p> <p>7.30明治天皇崩御 61歳</p> <p>7.6 14第5回オリンピック大会（ストックホルム）にニッポンより三島・金栗が初めて出場三島が100、200、400m 走、金栗がマラソンに出場（5.16出発シベリア経由） 第5回オリンピック大会ストックホルムで開催 参加国28・参加者2541・メダル数1位スウェーデン 自動車登録台数 521台</p>

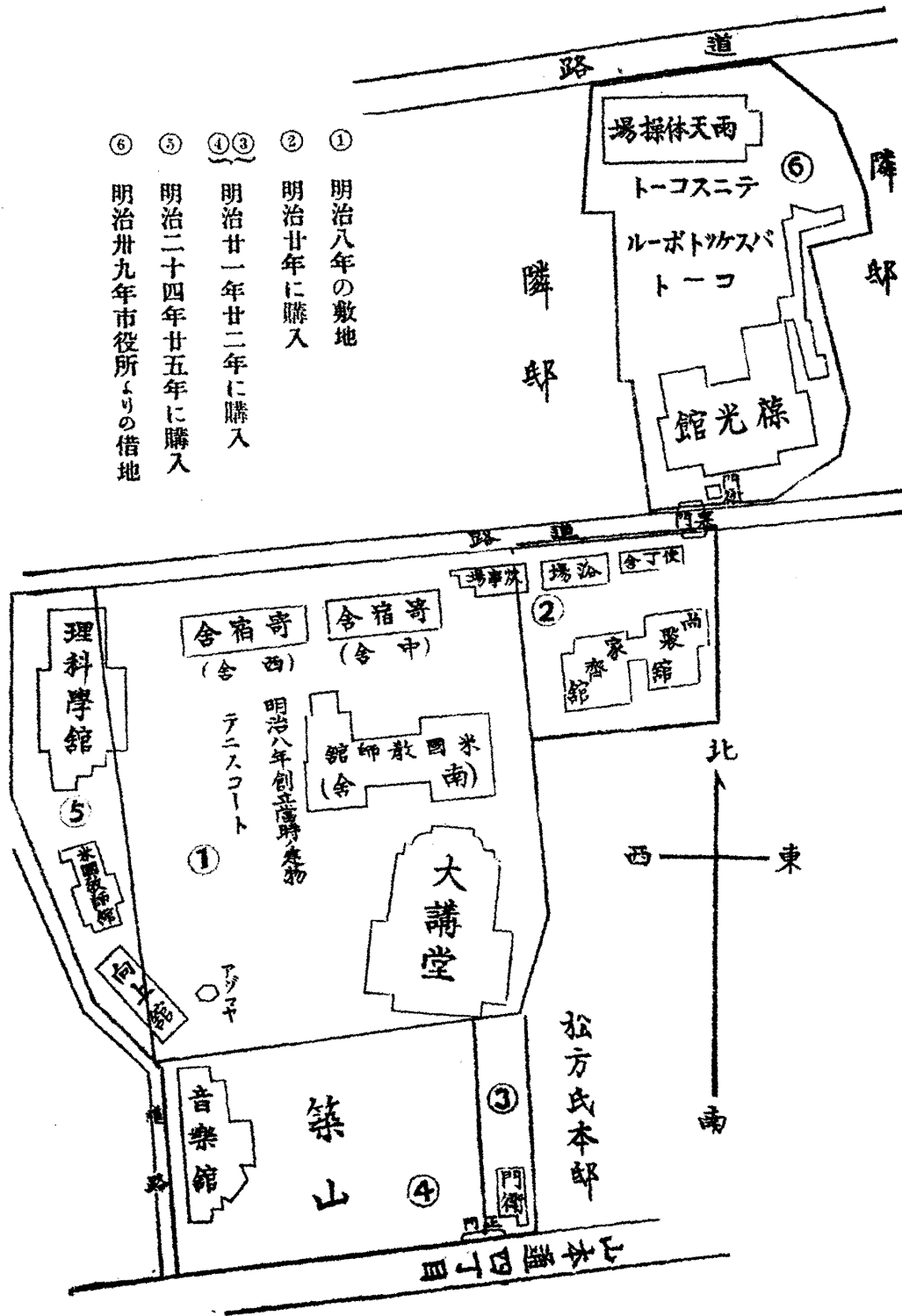


愛好バザー風景

50年史より



校舎配置図 25周年略史より



- ① 明治八年の敷地
- ② 明治廿年に購入
- ③④ 明治廿一年廿二年に購入
- ⑤ 明治二十四年廿五年に購入
- ⑥ 明治卅九年市役所よりの借地

校舎配置図 50年史より

## 文 林

運動 本科一年生 井 上 幸

運動の能く精神と愉快を爲し又身体を強壯を爲すものなり運動といひ只終日諸方を徘徊と徒らに時を費すの謂に非らず吾人若しひめもす勉強をなし身体は十分は疲勞を覺ゆる時少も休息せず精神を養ふべきは漸々身体を衰弱をきたし甚しきは或は腦或は肺等の病魔に侵され終身不用の身となり故に勉強すると共に時々杖と野外に曳て運動をなし精神を養ふこと緊要あり仮令何れ程學問を爲し識者として世人を尊ぶるゝとも其身弱くして事業を取る能はざる時何の益あらむや寧ろ身体強壯にして無學の方益あるべし故に妹今此を記して以て世の運動は大切なることを知らざる人々示すと云ふ

(めぐみ2号)

## 資料4

## 教学大旨「キリスト教と国家主義」

西洋の個人主義・キリスト教的な世界主義に対し、東洋の家族主義・儒教的な国家主義の伝統を維持し、忠君愛国の気風を養うのは、維新政府の教育の根本精神であった。明治十二年(1879)に下された「教学大旨」によれば、教育の目的は仁義・忠孝を明らかにすることにあるべきところ、近ごろは知識・才芸のみを尊び、西洋に学ぶことに忙しくて君臣・父子の大義を忘れる虞があることを遺憾とし、今後は道德の学は孔子を主として誠実品行を旨とすべきことを諭し、また各県の学校において農商の子弟までが高尚の空論をもてあそび、卒業後帰郷しても本業に就き難く、しかもその博学を誇って長上を侮る者が多い弊害に堪がみ、今後の教育はあくまで実効を主とし、他日、本業を盛大ならしめるものでなければならぬと指摘した。こういう教育思潮に立つ者からみれば、条約改正の方便とはいえ、かの明治十七、八年来鹿鳴館を中心とする欧化主義者流の振舞いはいかにも屈辱的であり、亡国的にさえ感ぜられた。それに同二十一年外務当局が新たにたてた条約改正案も領事裁判権撤廃の代わりに外国人を大審院判事に任用するというもので、實質上日本の法権の独立を全うするわけではなく、それに外国人裁判官の任用は二十二年二月十一日発布の大日本帝国憲法に抵触する疑いもあったので世論が沸騰し、同十月大隈外相が玄洋社員に襲撃される事件も起こり、条約改正談判は一時中止された。このため欧化主義は衰退して反動的に国粹主義が流行し、洋髪よりも日本髪が再びもてはやされる世の中になった。かの帝国憲法はその第二八条に「日本臣民は安寧秩序を妨げず、及び臣民たるの義務に背かざる限りに於て信教の自由を有す」と明記する。しかし元来この憲法は天皇の地位を神聖不可侵とし、その臣民に対する統治権に絶対性を附与するものであり、その上翌二十三年(1890)十月三十日に下された「教育に関する勅語」はかの「教学大旨」と同断の儒教倫理に基づき、国初以来歴朝の聖徳のもとに万民一致して忠孝一本の道德国家を建設した「国体の精華」を讚美し、今後とも一身の修養に努めるとともに進んで公益・社会に貢献し、一旦緩急あれば義勇公に奉じ、もって天壤無窮の皇運を扶翼すべき忠良なる臣民を育成することをもって教育の根本目的とした。このように天皇に忠誠を尽くす「臣民」の義務と、キリストに導かれる「神の御民」の信教との関係がいかにあるべきかは、日本のキリスト教全体の興廢にかかわる問題として真剣に対決させなければならなかった。折も折、翌二十四年一月、キリスト教信徒である第一高等中学校内村鑑三教師のいわゆる勅語不敬事件を契機として、キリスト教と日本精神との不調和が改めて問題視され、教会もキリスト教学校も、それぞれ困難と戦わなければならなかったのである。

(80年史)

○五月例年の通り體格試験を行ふ其結果左の如し

體格検査統計表 明治四十年五月調査 神戸女學院

項目	學年		壹學年	貳學年	參學年	四學年	五學年	高等科	音樂科	合計
	年	目	年	年	年	年	年	年	年	年
検査人員	48	48	42	15	30	31	31	13	10	266
身長	7002	145,9	6214,5	144,5	2256	150,4	4505,9	151,5	148,3	307027
體量	1969,1	196,9	1838,7	183,8	697,7	138,8	1388,3	151,5	437,8	920,6
胸圍	3410	71	3044	70,8	1123	74,9	2265	77	75	15307
充虚差	381	7,93	304,4	7,1	129	8,3	265	8,8	8,6	16934
眼病	13	1	5	0	6	0	7	0	4	55
疾病	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2
體格	14	14	20	10	12	12	17	9	7	109
寄宿生	6	6	6	4	7	7	8	5	3	45
通學生	8	8	14	6	5	5	10	1	2	64
不視力	4	4	1	0	2	2	2	1	3	31
不視力	9	9	4	0	4	4	11	6	1	24

備考身長はセンチメートル體重は疋を單位とす

## 学制

明治十三年九月に新構想のもとに始業するにあたり、クラークソン女史は従来からの生徒を学力により三学年に分け、最上級生を五年制コースの四年生とし、一年生は九月に入学する新入生のクラスとした。従って最上級生は明治十五年六月に、第一回卒業生として学窓を巣立つこととなっていた。国語と漢文のほかに、英語で代数・英文法・植物学・英作文・地理・歴史が講じられ、最上級生にはクラークソン女史自ら科学 (Natural Philosophy) と幾何学を講じた。宗教教育に関しては全生徒を上級生・下級生の二つのクラスに分け、聖書は両クラスとも日本語で教えられ、下級生には毎日「ルカによる福音書」が週一回旧約聖書の授業が行われ、上級生は対観福音書を学んだ。以上のほかに軽い体操や、一人の生徒の弾くオルガンにあわせての行進が一日二回行われ、図画、音楽、オルガンによる器楽の時間も設けられ、裁縫の授業も従来どおり行われることとなった。デフォレスト女史によれば、英和女学校の日課は次のごとくである。

午前 八・〇〇～八・三〇 祈祷

八・三〇～九・〇〇 自習

九・〇〇～一・〇〇 学習

一・〇〇～二・〇〇 休息 但し一部の生徒は昼食の準備をする。

午後 一・三〇～四・〇〇 学習

四・〇〇～五・〇〇 運動 一部生徒夕食準備

五・三〇～ 祈祷後夕食。後休息。

七・〇〇～八・〇〇 自習 (下級生)

～九・〇〇 自習 (上級生)

九・三〇 消灯

聖書は日本語で教えたが、英文法、英作文、歴史、地理、代数、幾何、博物、自然哲学などの授業は英語により、教科書には「ギゾーの文明史」(Guizot's "History of Civilization")、などを用いた。このほか日本人教師の担当する国語、漢文、図画、裁縫、音楽、体操などの諸教科もあり、一般教育としては当時において最も進んだ学科編成を備えた。

(百年史より)



學科表

西曆一八九一年（明治廿四年）に定めたるもの

科目	第一等科			第二等科			第三等科		
	第一年	第二年	第三年	第一年	第二年	第三年	第一年	第二年	第三年
修身	聖書	全上	全上	全上	全上	全上	聖書	全上	全上
和漢學	普通國文、摘要、日本外史、上	日本文法、日記、住吉物語、枕草子、略本朝名家文範、文藝軌範、上	和漢文法、日記、住吉物語、枕草子、略本朝名家文範、文藝軌範、上	和漢文法、日記、住吉物語、枕草子、略本朝名家文範、文藝軌範、上	和漢文法、日記、住吉物語、枕草子、略本朝名家文範、文藝軌範、上	和漢文法、日記、住吉物語、枕草子、略本朝名家文範、文藝軌範、上	和漢文法、日記、住吉物語、枕草子、略本朝名家文範、文藝軌範、上	和漢文法、日記、住吉物語、枕草子、略本朝名家文範、文藝軌範、上	和漢文法、日記、住吉物語、枕草子、略本朝名家文範、文藝軌範、上
英語及英文學	第一、第二、第三、第四讀本、文法、習字	作文	作文	作文	作文	作文	作文	作文	作文
數學	寺尾氏、中等算術、全上	アルジー氏、代數、幾何、平面幾何學	アルジー氏、代數、幾何、平面幾何學	アルジー氏、代數、幾何、平面幾何學	アルジー氏、代數、幾何、平面幾何學	アルジー氏、代數、幾何、平面幾何學	アルジー氏、代數、幾何、平面幾何學	アルジー氏、代數、幾何、平面幾何學	アルジー氏、代數、幾何、平面幾何學
地理	史理	泰氏、日本地理、新日本歴史、萬國史	泰氏、日本地理、新日本歴史、萬國史	泰氏、日本地理、新日本歴史、萬國史	泰氏、日本地理、新日本歴史、萬國史	泰氏、日本地理、新日本歴史、萬國史	泰氏、日本地理、新日本歴史、萬國史	泰氏、日本地理、新日本歴史、萬國史	泰氏、日本地理、新日本歴史、萬國史
理化	化學	化學口授	化學口授	化學口授	化學口授	化學口授	化學口授	化學口授	化學口授
博物學	植物學	植物學口授	植物學口授	植物學口授	植物學口授	植物學口授	植物學口授	植物學口授	植物學口授
衛生法	衛生法	衛生法	衛生法	衛生法	衛生法	衛生法	衛生法	衛生法	衛生法
家政	家政	家政	家政	家政	家政	家政	家政	家政	家政
及倫理學	倫理學	倫理學口授	倫理學口授	倫理學口授	倫理學口授	倫理學口授	倫理學口授	倫理學口授	倫理學口授
習字及楷筆	習字、楷筆、全上	習字、楷筆、全上	習字、楷筆、全上	習字、楷筆、全上	習字、楷筆、全上	習字、楷筆、全上	習字、楷筆、全上	習字、楷筆、全上	習字、楷筆、全上
裁縫	裁縫、一少身、本、身、單、本、身、袴、羽、織、絹、物	裁縫、一少身、本、身、單、本、身、袴、羽、織、絹、物	裁縫、一少身、本、身、單、本、身、袴、羽、織、絹、物	裁縫、一少身、本、身、單、本、身、袴、羽、織、絹、物	裁縫、一少身、本、身、單、本、身、袴、羽、織、絹、物	裁縫、一少身、本、身、單、本、身、袴、羽、織、絹、物	裁縫、一少身、本、身、單、本、身、袴、羽、織、絹、物	裁縫、一少身、本、身、單、本、身、袴、羽、織、絹、物	裁縫、一少身、本、身、單、本、身、袴、羽、織、絹、物
唱歌	唱歌、一時間、全上	唱歌、一時間、全上	唱歌、一時間、全上	唱歌、一時間、全上	唱歌、一時間、全上	唱歌、一時間、全上	唱歌、一時間、全上	唱歌、一時間、全上	唱歌、一時間、全上
音樂	音樂、全上	音樂、全上	音樂、全上	音樂、全上	音樂、全上	音樂、全上	音樂、全上	音樂、全上	音樂、全上
體操	體操、全上	體操、全上	體操、全上	體操、全上	體操、全上	體操、全上	體操、全上	體操、全上	體操、全上

備考 ○印(文科) ●印(理科)ヲ附シタルハ撰科ニシテ文理兩科中隨意ノ科ニ撰ビ換ユルヲ得

○普通科及補習科學科表 (明治三十九年)

科目	普通一年		普通二年		普通三年		普通四年		普通五年		補習科
	時數	週	時數	週	時數	週	時數	週	時數	週	
倫理	聖書	二	同上	二	同上	同上	二	同上	同上	二	聖書
國語	講讀、文法、作文、習字	六	同上	六	同上	同上	五	同上	同上	五	國語
英語	讀方、會話、習字、譯解	六	同上	六	同上	同上	六	同上	同上	六	英文、漢文
地理	日本地理、日本歴史	三	外國地理、日本歴史	三	東洋史、西洋史	二	西洋史	一			英語
歴史	算術	三	同上	三	代算、代數	二	代數	三	幾何	二	數學
數學	理科				植物、動物	三	植物、動物	三	衛生、生理	四	教育、心理
家事	圖畫	二		二		一	家庭簿記、衣食住	一	割烹、育兒看護	二	家事
裁縫	唱歌	二		二		四		四		一	圖畫
體操	禮法	二		二		二		二		二	唱歌
手藝	各學年を通して適宜に之を課す										體操
計	同上	三〇	同上	三〇	同上	三〇	同上	三〇	同上	三〇	

備考

補習科に於て本院の普通科卒業生には數學を除き他の高等女學校(五年程度)卒業生には家事、圖畫、裁縫の三科を除き之に代ふるに英語數學を以す

隨意科として風琴、箏、點茶、插花の科を置き生徒の餘力ある者をして隨意に學ぶことを得しむ

高等科學科表

(1) 生物科 一週四時

科目	學年	第一學期	第二學期	第三學期
第一學年	生物學	植物學	同	同
第二學年	植物學	動物學	同	同
第三學年	生物學	同	同	衛生學

(3) 哲學科 一週四時

科目	學年	第一學期	第二學期	第三學期
第一學年	論理學	心理學	同	同
第二學年	經濟學	有神學	同	同
第三學年	社會學	教育學	同	同

(2) 理學科 一週四時

科目	學年	第一學期	第二學期	第三學期
第一學年	物理學	同	同	同
第二學年	化學	同	同	同
第三學年	礦物學	地質學	天文學	同

(4) 英語科 一週四時

科目	學年	第一學期	第二學期	第三學期
第一學年	英文學	英文典、作文	同	同
第二學年	修辭學、作文	英文學	同	同
第三學年	英文學	同	同	大陸文學

音樂科學科表

普通科 五ヶ年

音樂	ソルフエジオ、聽管の練習、理論、音樂史	一週 十八時
倫理		一週 二時
英語		一週 六時

師範科 三ヶ年

音樂	ソルフエジオ、聽管の練習、理論音樂史、教授法、實地教授、樂器構造學	一週 十八時
倫理		一週 二時
英語		一週 六時

明治四十二年

表 科 學 部 門 專

上 以 年 學 二 第                      年 學 一 第

目 科 須 必

體操	修身	第二學年
	普通體操遊戲	第三學年
	同上	第四學年

計二十二時	漢文 講讀	國語 講讀、作文、文法	修身 修身作法、舊約聖書	學 科	每 週 授 時 數
	四 體操	五 數學 代數、幾何	二 英語 英文學、文典、英國史	學 科	每 週 授 時 數
	二	三	六		

(間時四科各週毎) 目 科 要 主

英語	礦理化	學生物	哲 學	漢 文	國 語	學科學期
三二一	三二一	三二一	三二一	漢文經史傳、漢文、文法、文學史	國語、美文の講讀、散文、作文、文學史	第一學年
三二一	三二一	三二一	三二一	同上	同上	第二學年
三二一	三二一	三二一	三二一	同上	同上	第三學年
三二一	三二一	三二一	三二一	同上	同上	第四學年

附 獨逸語は修業年限二ヶ年にして第二學年より始むるを本旨とすれども第三學年より始むることを得  
 専門部の授業は國語、漢文、哲學、譯文、圖書、裁縫の外は盡く英語を以て教授す

第二學年以上の學科は必須科目、主要科目、隨意科目の三種  
 さし合計二十時を課す但し裁縫、圖書、理科實驗、音樂練習  
 等は三時を以て一時に算す  
 一、必須科目は生徒をして必ず履修せしむるものを云ふ  
 二、主要科目は第二學年の初めに於て生徒自ら其一科を撰  
 定し卒業に至る迄繼續して履修すべきものとす  
 三、隨意科目は毎學年の初めに於て生徒自己の希望する科  
 目を申出で校長の許可を得て履修すべきものとす

隨 意 科 目

裁縫	圖書	音樂	獨逸語	譯文	歷史	數學	漢文	國語	學科
三二一	三二一	三二一	三二一	三二一	三二一	三二一			學期
同上 縫方、 上方、 上方、 地方	自在 圖書	同上 音樂 器官 練習 史論	會講讀 讀方 文書 話法取	和英 文英 英和 譯譯	中太太 古古古 史史史	代代代 數數數	經史 傳書 文章	文文散 典文、 學作美 史文講 文讀	第二學年
同上	同上	同上	同 作 上 文	同上	近近中 世世古 史史史	幾幾幾 何何何	同上	同上	第三學年
同上	同上	同上		同上	美美術 史史並 者ハ米 國國史 史史	三三三 角角角 術術術	同上	同 修 上 辭 學	第四學年

間時四週每限ニ語逸獨但 間時二科各週每

50年史より

表 科 學 科 通 普

計	育教	操體	歌唱	縫裁	畫圖	事家	科理	學數	地理	語英	語國	身修		
		遊普 通體 操	ハ復 音唱 歌又	運針、 裁地 方	自 在 畫			算 術	日 本 地 理 日 本 歷 史	會 話、 譯 解	讀 方、 書 取	講 讀、 文 法	聖 書、 作 法	第 一 學 年
三〇		二	二	四	二			三	三	六	六	二	時 數 每 週	第 二 學 年
		同上	同上	同上	二 用 器 畫		生 物	同上	東 洋 史 日 本 歷 史 外 國 地 理	同上	同上	同上		上 同
三〇		二	二	四	一		二	三	三	六	五	二		上 同
		同上	同上	同上	自 在 畫		物 生 理	代 算 術	東 洋 史 西 洋 史	作 文 譯 解、 會 話 文 典	同上	同上		第 三 學 年
三〇		二	二	四	一		三	二	二	六	六	二		上 同
		同上	同上	同上	同上	衛 衣 家 計 食 生 住 記	化 物 學 理	代 數	西 洋 史	同上	同上	同上		第 四 學 年
三〇		二	二	四	一	一	三	三	一	六	五	二		上 同
	教 育 心 理 學	同上	同上	同上	同上	育 兒 看 護	制 烹 生 理	幾 何		作 文 通 文 譯 學	同上	同上		第 五 學 年
三〇	二	二	二	四	一	二	二	二		六	五	二		上 同

明治四十二年

唱歌は生徒の能力に依りて  
 學級を編成し同學年の生徒  
 を以てせざることあり風琴  
 箏、點茶、插花は生徒の餘  
 力あるものをして隨意に學  
 習するを得しむ

英語專修科  
學科表

計	體操	唱歌	英語	國語	修身	
	遊藝	普通體操	讀方、書取、譯解、會話、文法	講讀、作文、文法	聖書、作法	第一學年
二	二	二	一二	三	二	每週授時數
	同上		同上	同上	同上	第二學年
二	二	二	一二	三	二	每週授時數

英語專修科生徒は音樂を兼修することを得  
英語專修科生徒にして本校專門部へ入學志願の者は學科の外第一學年に於て代數三時第二學年に於て幾何二時家事二時を學修することを要す

50年史より

音樂部

本科

修身 聖書、道德の要旨、作法  
音樂 ソルフエジオ聽官練習、樂器練習、理論、音樂史  
英語 每週二時  
體操 每週十八時  
每週六時  
每週二時

同

師範科

修身 聖書、道德の要旨、作法  
音樂 ソルフエジオ聽官の練習、樂器練習、理論、音樂史  
英語 教授法、實地教授、樂器構造學  
體操 每週二時  
每週十八時  
每週六時  
每週二時

運動會順序		明治41年(1908)
午前の部		
一、唱 歌(院歌)	全 體	
二、各個演習	四、五、補、高	
三、三脚運動	一 年	
四、圓陣攻撃	二 年	
五、翻譯競争	五 年	
六、バスケットボール	五 年	
七、來賓運動		
八、徒歩競争	各級有志	
九、棍棒體操	四 年	
十、任和寺小僧の戲舞	補、高	
十一、用紗列舞	二 年	
十二、架橋競争	四 年	
十三、合演體操	一徒手 二唾鈴 三球竿	
十四、來賓運動		
十五、風船上ケ	三 年	
午後の部		
一、唱 歌(運動會の歌)	全 體	
二、體操各個演習	一、二、三年	
三、來賓遊戯		
四、方形遊舞	四、五、補	
五、林間の風流	二 年	

六、婦人生活	三 年
七、花輪舞	一 年
八、球送	各級有志
九、來賓遊戯	三 年
十、胡蝶の舞	四 年
十一、天狗の鼻落し	一 年
十二、鄙の冬の準備	
十三、來賓遊戯	
十四、輪體操	
十五、夕立競争	各級有志
十六、對向遊舞	生徒全體
十七、優勝旗授與	
十八、優勝の歌	
十九、校長講評	
二十、萬歳三唱	

式後院歌合唱を以て校内運動會を葆光館(普通科教場)庭園に於て催す、此日は当地各教会聯合大親睦會をも同じく当院奮講堂跡の庭園に於て開かれしが一同舉りて我が運動會場に、ところせきまでに集まり見物あり双方好都合なりき、終にソール院長より名誉の優勝旗を授けられしは普通科三年生なりき、雨模様となりしにより天皇陛下の万歳を三唱し閉會、技術進歩のあと明かに見ゆるは体操教師中島氏の苦心によることと感謝の他なし優勝旗授與後唱へし



## 勝利のうた

- 一、 けふのよき日を  
うらなひて  
教の庭に  
打ちつどひ  
おなじ學の  
わがともと  
競う遊戯の  
敷おほし  
二、 優劣ここに  
さだまりて  
勝利を得たる  
わがくみの  
あがるかちどき  
勇ましく  
かざす桂の  
枝たかし  
嬉しやかみの  
御恵と  
三、 ともにおさめん  
ひとの和の  
きよく尊く  
あらわれて  
身にはさかえの  
はな匂ふ  
油断は人の  
かたきなり  
四、 勝ちてかぶとの  
緒をしめよ  
またも來ん秋  
來ん春に  
ほまれのいさを  
あらはさむ

## 運動會のうた

- 一、 黄菊白菊  
咲きにはふ  
そのには千代の  
いろみちて  
すめるみそらの  
秋たかく  
たもとに通ふ  
風きよし  
二、 いざやわがとも  
おもふどち  
をしえの庭に  
うちむれて  
ともに遊戯の  
敷つくし  
こゝろを身をも  
きたはッや  
三、 かたきこゝろの  
なからずば  
まなべるわざの  
功ならず  
おへる任務の  
かずくも  
かよわき身にて  
つくされず  
いざわがとも  
おもふどち  
四、 神の御馨に  
したがひて  
きよきいのりを  
さ、げつ、  
心もみをも  
きたはッや

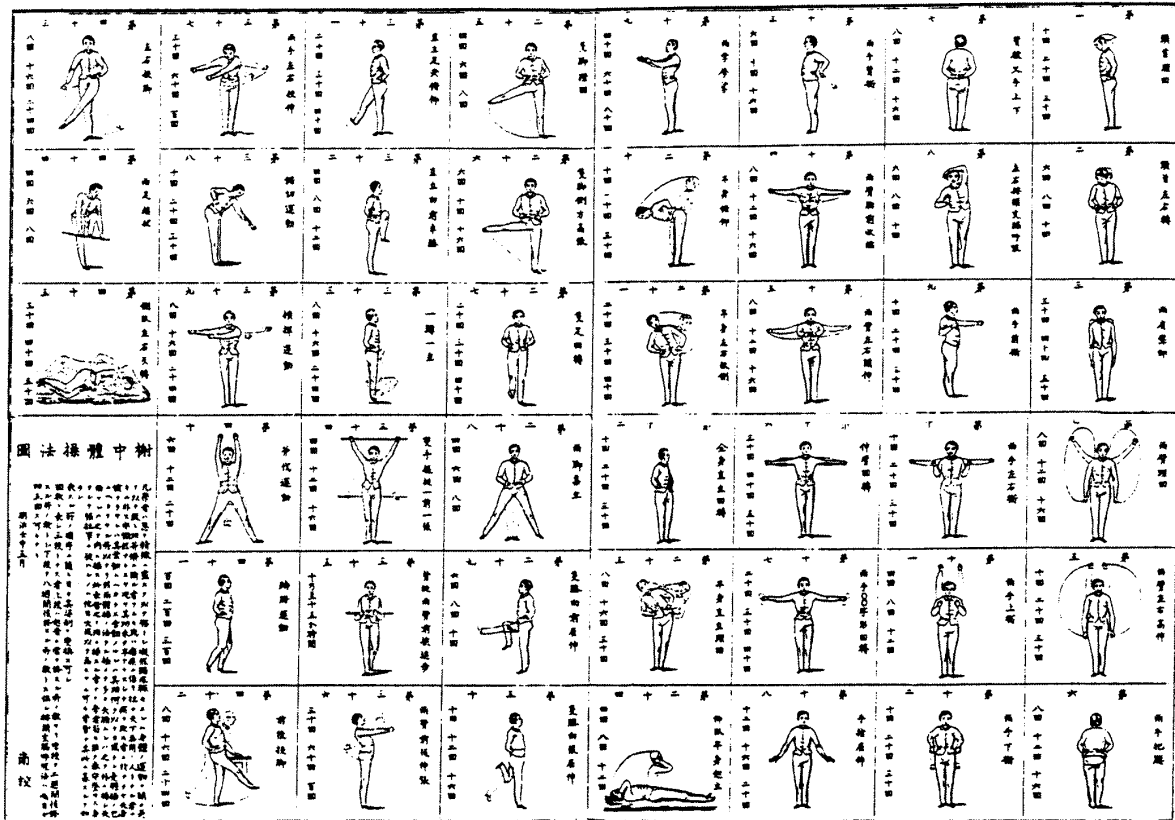
明治42年(1909)11月12日(金)

本日午前十一時より葆光館運動場に於て校内運動會を開く、葆光館入口に國旗を交叉し運動場には高く各國々旗を従事に渡されありき、順序書を左にのす。

一、	唱歌(院歌)	一	同
二、	圓舞對舞	一	年 四
三、	周圍攻撃	二	年 年
四、	盲啞競争	三	年 年
五、	支度競争	四	年 年
六、	タンツライゲン	一、二	年 年
七、	赤十字	五	年 年
八、	抽籤競争	高 等	科 科
九、	球竿渡し	一	年 年
十、	クロスボルカ	二	年 年
十一、	ローンランス	有	志 志
十二、	體擊	一	年 年
十三、	圓舞三拍子	三、四、五	高 高
十四、	架橋競争	二	年 年
十五、	周圍攻撃	四	年 年
十六、	脊球奪	三	年 年
十七、	棍棒體操	五	年 年
十八、	列舞	一	年 年
十九、	バスケットボール	高等科 普通科	
二十、	球の集配	高 等	科 科
廿一、	長下駄競争	四、五	年 年
廿二、	輪スケ	一、二	年 年
廿三、	サラトーガランサーズ	三四五、	高 高
廿四、	職員競争		
廿五、	カトドニアン		

めざましかりしはバスケットボールの働きぶり、笑はされしは日頃は多少恐ろしき諸先生の今日は白襷と赤襷をかけて走らるる様、長阪先生は赤、横川先生は洋服の上に白、西洋の先生も襷はかけられき。

生徒の父兄、同窓會員らの來賓ありて大いに賑はえり。



樹中体操法図

引用文献

- ・神戸女学院25年略史
- ・神戸女学院50年史
- ・神戸女学院80年史
- ・神戸女学院100年史
- ・神戸女学院同窓会誌 「めぐみ」
- ・学院資料（神戸女学院資料室）
- ・梅花女子学園60年史 90年史 110年史
- ・フェリス女学院100年史
- ・同志社女子大学125年史
- ・スポーツと教育の歴史 不昧堂出版 昭和63年発行
- ・兵庫県バスケットボール協会50年史 昭和60年発行
- ・体育の世界史 ベースボールマガジン社 昭和39年発行
- ・学校体育の父 リーランド博士 不昧堂 昭和43年発行
- ・新体育大辞典 不昧堂出版 昭和61年発行
- ・新版近代体育スポーツ年表 大修館 平成6年発行

(原稿受理 2002年10月7日)